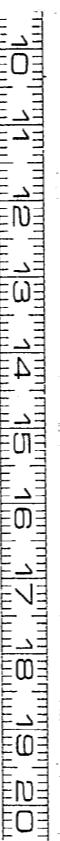


埼玉縣立川越高等女學校一覽

明治四十五年三月



埼玉縣立川越高等女學校一覽

日

次

第一章 沿革畧

學年歷

高等女學校令

高等女學校令施行規則

縣立高等女學校學則

縣立高等女學校學則

第二章 細則

職員服務規定

職員執務規定

生徒監督規定

職員當直規定

教授研究會規定

教授豫定及教授進度報告規定

成績考查規定

操行調查規定

文書取扱規定

儀式規定

非常心得

生徒出缺席規定

生徒心得網領

生徒保護者保證人心得

寄宿舍細則

埼玉縣立川越高等女學校々友會規則

教科書圖書配當表

職員生徒諸統計

經費

明治四十三年一月廿九日文部省告示第十五號ヲ以テ本校ノ設置並ニ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セラル
明治四十四年三月一日川越町立川越高等女學校長青木正興本校事務取扱ヲ命セラル
同 本校事務所ヲ町立川越高等女學校内ニ置ク
同 三月十三日埼玉縣立川越中學校書記原田榮旦埼玉縣立川越高等女學校書記兼務ヲ命セラル
同 三月三十一日川越町立川越高等女學校教諭堀内まつ、松村キン、土取マス、岩澤新平、富山賢淨埼玉
縣立川越高等女學校教諭ニ任セラル
同 川越町立川越高等女學校助教諭兼書記池上恭助埼玉縣立川越高等女學校助教諭ニ任セラル
同 同日埼玉縣立川越中學校書記原田榮旦埼玉縣立川越高等女學校書記ニ専任セラル
同 四月四日二、三學生入學試験ヲ行フ
同 五日川越町立川越高等女學校長青木正興埼玉縣立川越高等女學校教諭兼校長ニ任セラル
同 六日一學生入學試験ヲ行フ
同 同四月廿一日埼玉縣立川越中學校教諭築根喜一郎埼玉縣立川越高等女學校教諭ニ任セラル
同 八日町立川越高等女學校々舍ヲ假校舍トシテ其生徒ヲ引繼キ授業ヲ開始ス
同 四月十八日埼玉縣人間郡川越南尋常小學校訓導齋木佐太郎埼玉縣立川越高等女學校書記ニ任セラル
同 六月一日埼玉縣立川越中學校教諭築根喜一郎埼玉縣立川越高等女學校教諭ニ任セラル
同 四月廿三日本校舍一棟竣工セシニ付引渡サレ新校舍ニ引移ル

第一章 沿革畧

明治四十三年一月廿九日文部省告示第十五號ヲ以テ本校ノ設置並ニ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セラル

明治四十四年三月一日川越町立川越高等女學校長青木正興本校事務取扱ヲ命セラル
同 本校事務所ヲ町立川越高等女學校内ニ置ク
同 三月十三日埼玉縣立川越中學校書記原田榮旦埼玉縣立川越高等女學校書記兼務ヲ命セラル
同 三月三十一日川越町立川越高等女學校教諭堀内まつ、松村キン、土取マス、岩澤新平、富山賢淨埼玉
縣立川越高等女學校教諭ニ任セラル
同 川越町立川越高等女學校助教諭兼書記池上恭助埼玉縣立川越高等女學校助教諭ニ任セラル
同 同日埼玉縣立川越中學校書記原田榮旦埼玉縣立川越高等女學校書記ニ専任セラル
同 四月四日二、三學生入學試験ヲ行フ
同 五日川越町立川越高等女學校長青木正興埼玉縣立川越高等女學校教諭兼校長ニ任セラル
同 六日一學生入學試験ヲ行フ
同 同四月廿一日埼玉縣立川越中學校教諭築根喜一郎埼玉縣立川越高等女學校教諭ニ任セラル
同 八日町立川越高等女學校々舍ヲ假校舍トシテ其生徒ヲ引繼キ授業ヲ開始ス
同 四月十八日埼玉縣人間郡川越南尋常小學校訓導齋木佐太郎埼玉縣立川越高等女學校書記ニ任セラル
同 六月一日埼玉縣立川越中學校教諭築根喜一郎埼玉縣立川越高等女學校教諭ニ任セラル
同 四月廿三日本校舍一棟竣工セシニ付引渡サレ新校舍ニ引移ル



五月五日勅語謄本戊申詔書及ヒ戰利品ヲ下附セラル
同 平塚縣屬附添縣參事會員茂木昌一郎氏、岡安五郎氏、大澤寅次郎氏會計検査ノ爲メ來校
同 五月廿七日海軍紀念日ニ付海軍大尉鳥山貞美氏ヲ聘シ日本海大海戦ノ講話ヲ聞ク
同 六月一日島田知事安達學務課長臨塙開校式ヲ舉行ス
生徒成績品展覽會ヲ開催ス

同 六月廿三日安達學務課長石田屬ヲ隨ヘ學事視察トシテ來校
同 同 十月二十日一、二學年生ハ東京方面へ（日歸リ）三、四學年ハ横須賀鎌倉方面へ（二泊）修學旅行ヲ
ナス

同 十一月十六、十七日縣屬小川正次郎、平塚盛一郎、林重左衛門ノ三氏會計検査ノ爲メ來校
同 十二月十四日東京外國語學校長村上直次郎氏外國語視察ノ爲メ來校

第一章 學年曆

四月 中旬 春季休業
自一日至七日 教務準備、學級主任々命、教室選定
八月 始業式（禮服着用）入學式
各級席次編制（身長順）
生徒出席簿調製（五十音順）
午前九時始業
校友會幹事選舉並豫算編制
下旬 身體檢查施行

五月 上旬 午前八時始業
中旬 遠足
廿七日 海軍紀念日
廿八日 皇后陛下御誕辰祝賀式舉行
一日 校友會大會
十五日 來年度豫算概算書調製
十一日 午前七時始業
十五日 第一期成績記入
二十日 終業式
二十一日 夏季休業
自二十二日至三十日
卅一日 修學旅行
三十一日 戊申詔書捧讀式
十二日 始業式（禮服着用）午前七時始業
十一日 午前八時始業
一日 午前九時始業
十月 中旬
廿三日 天長節拜賀式舉行

二十日 第二學期成績記入
廿五日 終業式舉行
自至二十六日
一日至二十七日 拜賀式舉行
冬季休業

十一日 教務準備、出席簿調製
廿五日 來學年中使用スヘキ教科書ノ選定
十一日 陸軍紀念日
十二日 第三學期成績記入
下旬 證書授與式
新學年ノ帳簿調製
教授細目ノ編制並ニ豫定表制定

第三章 高等女學校令

明治三十二年二月七日勅令第三十一號
同四十三年七月勅令第二百八十一號
四十三年勅令第四百二十四號改正

第一條 高等女學校ハ女子ニ須要ナル高等普通教育ヲ爲スヲ以テ目的トス

北海道及府縣ニ於テハ高等女學校ヲ設置スヘシ

- 前項ノ校數ハ土地ノ狀況ニ應シ文部大臣ノ指揮ヲ承ケ地方長官之ヲ定ム
- 第三條 前條ノ高等女學校ノ經費ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス (四三勅四二四改正)
- 第四條 郡市町村_{北海道及沖繩又ハ町村}ノ區_{含ム}ノ組合ハ土地ノ狀況ニ依リ須要ニシテ其區域内小學教育ノ施設上妨ナキ場合ニ限リ高等女學校ヲ設置スルコトヲ得
- 第五條 郡市町立ノ高等女學校ニシテ府縣立高等女學校ニ代用スルニ足ルヘキモノアルトキハ地方長官ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケ府縣費ヲ以テ相當ノ補助ヲ與ヘ第一條ノ設置ニ代フルコトヲ得
- 第六條 私人ハ本令ノ規定ニヨリ高等女學校ヲ設置スルコトヲ得
- 第七條 高等女學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 高等女學校ノ設置廢止ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第八條 公立高等女學校ノ位置ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム
- 第九條 高等女學校ノ修業年限ハ四箇年トス
- 但シ土地ノ情況ニ依リ一箇年ヲ延長スルコトヲ得
- 第十條 高等女學校ニ於テハ主トシテ家政ニ關スル學科目ヲ修メントスル者ノ爲メニ實科ヲ置キ又ハ實科ノミヲ置ク高女學校ノ名稱ニハ實科ノ文字ヲ冠スヘシ
- 高等女學校ニ於テハ其卒業者ニシテ尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同様ノ學力ヲ有スル者タルヘシ
- 第十一條 高等女學校ニ於テハ主トシテ家政ニ關スル學科目ヲ修メントスル者ノ爲メニ實科ヲ置キ又ハ實科ノミヲ置ク高女學校ノ名稱ニハ實科ノ文字ヲ冠スヘシ
- 高等女學校ニ於テハ其卒業者ニシテ其學科目ヲ專攻セントスル者ノ爲メニ專攻科ヲ置クコトヲ得但シ實科ニ關シテハ此限リニアラス

第十一條ノ二 實科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢十二年以上ニシテ同尋常小學校卒業程度以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第十一條ノ三 實科ノ修業年限ハ左ノ例ニ依ルヘシ但シ第三號ノ場合ニ於テハ一箇年ヲ延長スルコトヲ得

一、尋常小學校卒業程度ヲ以テ第一學年ノ入學資格トスル場合ニ於テハ四箇年

二、高等小學校第一學年修了程度ヲ以テ第一學年ノ入學資格トスル場合ニ於テハ三箇年

三、修業年限二箇年ノ高等小學校卒業程度ヲ以テ第一學年入學資格トスル場合ニ於テハ二箇年

第十一條ノ四 修業年限二箇年ノ高等女學校ノ設置ニ關シテハ文部大臣ノ定ム

第十二條 高等女學校ノ學科及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣ノ定ム

第十三條 高等女學校ノ教科書ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ地方長官ノ認可ヲ經テ學校長之ヲ定ム但シ文部大臣ノ檢定ヲ經サル教科書ヲ使用スル必要アルトキハ地方長官ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ一時其使用ヲ認可スルコトヲ得

第十四條 高科女學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル教員免許狀ヲ有スル者タルヘシ但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ本文ノ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十五條 公立高等女學校職員ノ俸給旅費其他諸給與ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十六條 高等女學校ノ編制及設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十七條 公立高等女學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

授業料入學料等ノ額ハ公立學校ニ在リテハ地方長官ニ於テ私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ文

附則
第十九條 本令施行ノ爲マニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第二十條 本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

地方長官ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令施行ノ日ヨリ四箇年以内第二條ノ設置ヲ延期スルコトヲ得

修業年限三箇年ノ高等女學校ハ本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ノ卒業ニ至ルマテ仍ホ之ヲ存續スルコトヲ得

修業年限四箇年ノ尋常小學校ノ課程ヲ卒リタル者ノ入學ニ付テハ第十條施行後ト雖仍ホ從前ノ例ニ依ル

明治四十二年勅令第二百八十一號附則
本令ハ明治四十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十條ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ施行ノ際現ニ技藝專修科ニ在學スル者ノ卒業ニ至ル迄ハ技藝專修科ヲ存置スルコトヲ得

高等女學校令施行規則
明治三十四年三月二十二日文部省令第四號同三十七年二月
號四十三年十月同第二十號同年十一月同第三十一號改正

高等女學校令規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

高等女學校令施行規則

第一章 學科及其程度

第二章 學年教授日數及式日

第三章 編制

第四章 設備

第五章 設備及廢止

第六章 入學在學退學及懲戒

第七章 補則

第八章 附則

高等女學校令施行規則

第一章 學科及其ノ程度

第一條 高等女學校ノ學科目ハ修身、國語、外國語、歴史、地理、數學、理科、圖画、家事、裁縫、音樂

第二條 外國語ハ之ヲ缺キ又ハ隨意科目トナスコトヲ得

第三條 圖畫、音樂ノ一科目又ハ二科目ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ缺クコトヲ得

第一項ノ學科目ノ外文部大臣ノ認可ヲ受ケ隨意科目トシテ土地ノ情況ニ依リ必要ナル學科目ヲ加

フルコトヲ得

生徒身体ノ情況ニ依リ學習スルコト能ハサル學科目ハ之ヲ其生徒ニ課セサルコトヲ得

第二條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ道徳上ノ思想及情操ヲ養成シ中等以上ノ社會ニ於ケル女子ニ必要ナル品格ヲ具ヘシメシコトヲ期シ實踐躬行ヲ勵奨スルヲ以テ要旨トス

修身ハ初ハ嘉言善行等ニ徵シ又ハ生徒日常ノ行狀ニ因ミテ道徳ノ要領ヲ教示シ又作法ヲ授ケ進ミテハ稍々秩序ヲ整ヘテ自己家族社會及國家ニ對スル責務ヲ知ラシムヘシ

第三條 國語ハ普通ノ言語、文章ヲ了解シ正確且ツ自由ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ得セシメ文學上ノ趣味ヲ養ヒ兼テ智德ノ啓發ニ資スルヲ以テ要旨トス

國語ハ現時ノ文章ヲ主トシテ講讀セシメ進ミテハ近古ノ文章ニ及ホシ又實用簡易ナル文ヲ作ラシメ文法ノ大要及習字ヲ授クヘシ

第四條 外國語ハ普通ノ英語又ハ佛語ヲ了解シ且ツ之ヲ運用スルノ能ヲ得セシメ兼テ智識ノ増進ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音綴字ヨリ始メ簡易ナル文章ノ讀方、譯解、書取、作文ヲ授ケ進ミテハ普通ノ文章ニ及ホシ又文法ノ大要會話及習字ヲ授クヘシ

第五條 歷史ハ歷史上重要ナル事蹟ヲ知ラシメ社會ノ變遷、文化ノ由來ヲ理會セシメ特ニ我國ノ發達ヲ詳ニシ特異ナル所以ヲ明ニスルヲ以テ要旨トス

第六條 地理ハ地球ノ形狀、運動並ニ地球表面及人類生活ノ狀態ヲ理會セシメ我國及諸國ノ國勢ヲ知ラシムヲ以テ要旨トス

第七條 地理ハ日本地理並ニ我國ト重要ノ關係アル諸國ノ地理ノ大要ヲ知ラシメ兼テ地文ノ一班ヲ授クヘシ

ラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ算術ヲ授クヘシ又必要ニ應シ代數ノ初步及幾何ノ初步ヲ授クルコトヲ得

第八條 理科ハ天然物及自然物ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其ノ法則並ニ相互及人生ニ對スル關係ヲ理會セシメ兼テ日常生活ニ資スルヲ以テ要旨トス

理科ハ重要ナル植物、動物、礦物ニ關スル一般ノ智識人体ノ構造、生理及衛生ノ大要並ニ重要ナル物理上及化學上ノ現象及定律器械ノ構造及作用、元素及化合物ニ關スル智識ヲ授クヘシ

第九條 圖画ハ物体ヲ精密ニ觀察シ正確且自由ニ之ヲ画クノ能ヲ得セシメ意匠ヲ練リ美感ヲ養フヲ以テ要旨トス

图画ハ自在画トシ寫生画ヲ主トシ臨画ヲ加へ授ケ又時々自己ノ考案ヲ以テ画カシムヘシ

前項ノ外幾何画ノ初步ヲ授クルコトヲ得

第十條 家事ハ家事整理上必要ナル智識ヲ得セシメ兼テ勤勉、節儉、秩序、周密、清潔ヲ尙フノ念ヲ養フヲ以テ要旨トス

家事ハ衣食住、看病、育児、家計簿記其他一家ノ整理、經濟等ニ關スル事項ヲ授クヘシ

第十一條 裁縫ハ裁縫ニ關スル知識技能ヲ得セシメ兼テ節約利用ノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

裁縫ハ普通ノ衣類ノ縫方、裁方及縫ヒ方ヲ授クヘシ

第十二條 音樂ハ音樂ニ關スル知識技能ヲ得セシメ美感ヲ養ヒ心情ヲ高潔ニシ兼テ德性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

音樂ハ單音唱歌ヲ授ケ又便宜輪唱歌及複音唱歌ヲ交ヘ樂器使用法ヲ授クヘシ

第十三條 體操ハ身體ヲ均齊ニ發育セシメテ之ヲ強健ナシメ四肢ノ動作ヲ機敏ナラシメ容儀ヲ整ヘ精神ヲ快活ニシ兼テ規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

体操ハ普通体操及遊戲トシ普通体操ニ於テハ矯正術、徒手体操、啞鈴体操ヲ授ケ又便宜球竿体操及豆囊体操ヲ授クヘシ

第十四條 (削除)

第十五條 (削除)

第十六條 各學年ニ於ケル各學科目ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科	科目	年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
外國語	語	六	二	二	二	二
修身	身	六	三	三	三	三
地理	理	五	三	三	三	三
數學	學	四	二	二	二	二
地歴	史	三	二	二	二	二
裁縫	科	四	一	一	一	一
裁縫	事	四	一	一	一	一
圖畫	科	四	一	一	一	一
裁縫	事	四	一	一	一	一

學科年	修學年限ヲ延長シタルトキハ各學科目ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ				
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
音樂	二	二	二	二	二
操縫	三	三	三	三	三
體操	二八	二八	二八	二八	二八
計	二八	二八	二八	二八	二八

學科年	修學年限ヲ延長シタルトキハ各學科目ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ				
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
國語	六	六	六	五	五
外國語	三	三	三	三	三
地理	三	三	三	二	二
歷史	三	三	三	二	二
數學	二	二	二	二	二
理科學	二	二	二	二	二
圖畫	一	一	一	一	一
裁縫	四	四	四	四	四
家事	一	一	一	一	一

外國語、圖畫、音樂ヲ缺キタル學校ニ於テハ其ノ毎週教授時數ハ便宜前二表中ノ學科目ニ配當スベシ

裁縫ノ毎週教授時數ハ六時間以内増加スルコトヲ得

第一條第五項ニ依ル加設科目ニ充ツル爲各學年ノ毎週教授時數ヲ六時以内増加スルコトヲ得

但シ加設科目中實習ニ屬セサルモノニ充ツル爲增加スル時數ハ二時ヲ超ユルコトヲ得ス

前二項ノ外土地ノ情況ニ依リ前二表中各學科目ノ各學年ノ配當又ハ毎週教授時數ヲ變更スルノ

必要アルトキハ其ノ事由ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ但各學年毎週教授時數ノ增加時數ハ

二時ヲ超ユルコトヲ得ス前三項ノ規定ニ依リ毎週教授時數ヲ增加スルトキハ其ノ增加時數ハ合

計六時ヲ超ユルコトヲ得ス

補習科ノ學科目ハ當該學校ノ學科目中ニ就キ之ヲ定ムヘシ但シ文部大臣ノ認可ヲ受ク必要ナル

補習科ノ各學科目ハ隨意科目ト爲スヨトヲ得

第十八條 以下第二十二條マテ實科ノ學科目ハ之ヲ省畧ス

第一章 學年教授日數及式日

第廿三條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

前項ニ依ル學年ノ外土地ノ情況ニ依リ九月一日ニ始リ翌年八月三十一日ニ終ル學年ヲ置クコトヲ得

ル前二項ノ規定ハ補習科ニ關シテハ之ヲ適用セス

第廿四條 教授日數ハ每學年二百日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケタ場合ニ於テハ此ノ限リニアラス試験及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第廿五條 傳染病豫防ノ爲メ必要アルトキ其他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲サシムルコトヲ得前項ノ事由アルトキハ地方長官ハ道府縣立以外ノ高等女學校ノ休業ヲ命スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ事由ヲ具シ遲滯ナク文部大臣ニ届出フヘシ

第廿六條 紀元節、天長節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀式ヲ行フヘシ

第三章 編 制

第廿七條 高等女學校ノ生徒數ハ四百人以下トス但シ特別ノ事情アルトキハ六百人マテ之ヲ増スコトヲ得補習科及專攻科生徒數ハ前項ノ生徒數ニ算入セス

第廿八條 學級ニ同學年ノ生徒ヲ以テ之ヲ編制スベシ但シ實科ニ在リテハ此ノ限リニアラス

第廿九條 修身、裁縫、音樂、体操及隨意科目ハ教授上支障ナキ場合ニ限リ學年又ハ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ之ヲ教授スルコトヲ得

第三十條 教員ノ數ハ五學級以下ノ學校ニ於テハ一學級毎ニ二人以上トシ五學級以上一學級ヲ加フル毎ニ一人半以上ノ割合ヲ以テ之ヲ増スヘシ但シ一學級毎ニ一人ハ他ノ職ヲ兼ネス又ハ他ノ職ヨリ兼ネサルコトヲ要ス

實科ニ在リテハ特別ノ事情アル場合ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得
(四三年文令二三政正)

第四章 設 備

第卅一條 高等女學校ニ於テハ校地校舍、体操場及校具ヲ備フヘシ
道府縣立高等女學校及之ニ代用スヘキ公立高等女學校ニ於テハ前項ノ外成ヘク寄宿舍ヲ備フヘシ

第卅二條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ教育上並ニ衛生上害ナキ所タルヘシ
校舍ハ教育上管理上並ニ衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナランコトヲ要ス

第卅三條 校具ハ圖書、器械、器具、標本、摸型及表簿等トス

第卅四條 高等女學校ニ備フヘキ表簿ノ種類左ノ如シ

一、高等女學校ニ關係アル法令
二、學則、日課表、教科用圖書配當表及學校醫視察簿、三職員ノ名簿、履歷書、出勤簿並ニ擔任學科目及時間表

三、資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、器械、標本、摸型ノ目錄
四、生徒ノ學籍簿、出席簿及身體檢查ニ關スル表

五、試驗ノ問題答案及成績表
六、資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、器械、標本、摸型ノ目錄
七、往復書類

前項ノ表簿中生徒學籍簿ハ十箇年以上之ヲ保存シ其他ノ表簿ハ五箇年以上之ヲ保存スヘシ

第卅六條 土地ノ情況ニ依リ學校長舍監及教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第卅七條

校舎客宿舎ノ建設又ハ變更ハ道府縣立高等女學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ文部大臣ニ届出スヘシ
其他ノ高等女學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
前項ニ依リ地方長官ニ於テ認可シタルトキハ圖面ヲ具シ文部大臣ニ届出ツヘシ

第五章 設置及廢止

第卅八條

高等女學校ノ設置ニツキ認可ヲ受ケントスルオキハ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

一、名稱

二、各學科ノ修業年限

三、各學年ノ生徒定員

四、開校年月日

五、經費及維持ノ方法
前項ノ事項ノ外公立學校ニ就キテハ地方長官ニ於テ位置ノ認可ヲ申請シ私立學校ニ就キテハ設立者ニ於テ位置ヲ具シ申請スヘシ

第一項第一號乃至第四號及位置ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ第三條ノ變更ニシテ
總定員ニ増減ヲ生セナル場合ニ於テハ文部大臣ニ届出ツヘシ
前二項ノ位置ニ關スル申請ニハ校地ノ面積、地質、屋外体操場ノ區域面積並ニ附近ノ情況ヲ
記載シタル圖面及飲用水ノ定性分析表ヲ添付スヘシ

第卅九條 高等女學校ノ廢止ニ就キ認可ヲ受ケントスルトキハ其事由及生徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ
申請スヘシ

第四十條 公立高等女學校ノ費用負擔者ヲ變更シ私立高等女學校ヲ公立高等女學校ヲ私

立高等女學校ニ變更セントスルトキハ第三十八條第一項第一號乃至第三號第五號及變更ノ年

月日ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十一條 第一學年入學志願者中尋常小學校ノ課程ヲ卒ラサル者ニ就キテハ試験ニ依リテ其學力ヲ検定

スヘシ

第一學年入學志願者中尋常小學校ノ課程ヲ卒リタル者ハ其他ノ志願者ニ先チテ入學ヲ許スコトヲ得

トヲ得

第六章 入學、在學、退學及懲戒

第四十二條 前條第一項ノ試験ハ國語、算術、日本歷史、地理、理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ
之ヲ行フヘシ

第四十二條ノ二 高等小學校第一學年修了以上ノ程度ヲ以テ第一學年ノ入學資格トスル高等女學校實科若
シクハ實科高等女學校ノ入學ニ關シテハ前二條ノ規定ヲ準用ス但シ第四十二條ノ試験學科目ニ
關シテハ裁縫ヲ加フ

第四十三條 第二學年以上ニ入學ヲ許ズヘキ者ハ相當年齡ニ達シ相當ノ學力ヲ有スル者タルヘシ
前項ノ學力ハ試験ニ依リ之ヲ検定スヘシ

第四十四條 高等女學校生徒ニシテ退學シタル者一箇年以内ニ其高等女學校若クハ他ノ高等女學校ニ志願

シタルトキハ試験ニ依ラスシテ原學年以下ノ學年ニ入學ヲ許可スルコトヲ得
第四十五條 他ノ高等女學校ニ轉學ヲ志望スル生徒アルトキハ學校長ハ正當ノ事由アリト認メタル場合ニ

限リ其生徒ノ在學証明書成績表及其ノ學校ノ學科課程表ヲ移轉先學校ニ送付スヘシ
移轉先學校ニ於テハ缺員アル場合ニ限リ前項生徒ノ轉學ヲ許可スルコトヲ得

轉學スル生徒ハ試験ヲ行ハシテ同一學年ニ編入スルコトヲ得
第四十六條 各學年ノ課程ノ修了又ハ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業ヲ考查シテ之ヲ定メ又ハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム各シ

第四十七條 補習科ニ入學スルコトヲ得ルモノハ高等女學校ヲ卒業シタル者タルヘシ
第四十八條 實科ノ學科目中一科目又ハ數科目ヲ學修セントスル者ハ專科生トシテ入學セシムルコトヲ得
(四三年文令二三改正)

第四十九條 學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス
第五十條 學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ高等女學校ノ學科ヲ卒業セリト認メタルモノハ卒業証書ヲ授與スヘシ

學校長ハ補習科又ハ專攻科ヲ修了セリト認メタル者三ハ修業証書ヲ授與スルコトヲ得
第五十一條 學校長ハ左ノ各項ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ
一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタルモノ
二、成業ノ見込ナシト認メタル者

三、出席常ナラサル者
第五十二條 學校長ハ教育上必要ハ認メタルトキハ遲滯ナク文部大臣ニ届出シヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ
第七章 補則

第五十三條 高等女學校ノ學則ヲ定メタルトキハ遲滯ナク文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ
第一節 學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ
一、學年及休業日ニ關スル事項
二、學科課程教授時數ニ關スル事項
三、課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項
四、生徒ノ入學退學懲戒ニ關スル事項
五、授業料入學料等ニ關スル事項
六、寄宿舍ニ關スル事項

第五十四條 道府縣立以外ノ高等女學校ニ關シ文部大臣ニ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

第五十七條 明治三十四年文部省令第四號高等女學校令施行規則第三十七條及第三十八條ノ規定ハ本令ニ
前項ノ文書中學校ノ設置及廢止ニ關スル申請ニ就キテハ地方長官ハ其ノ意見ヲ具スヘシ
第五十五條 本令中學校長トアルハ私立學校ニ在リテハ其ノ學校ヲ代表シ校務ヲ掌理スル者ヲ包含ス

第五十六條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第五十八條 第一條第五項ノ學科目ニシテ從來ノ規定ニ依リ加設セルモノハ總テ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

明治四十三年文部省令第二十三號附則
本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二九

本令施行ノ際現ニ授業科ニ在學スル生徒ニ試験ヲ行フシテ實利ノ木當學年ニ就クハニ得
前項ニ依リ實科ニ編入セラレタル生徒ニ關シテハ學科目及毎週教授時數ヲ便宜斟酌スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ技藝科ニ在學スル生徒ハ試験ヲ行ハスシテ實科ノ相當學年ニ編入スルコトヲ得前項ニ依リ實科ニ編入セラシタル生徒ニ關シテハ學科目及毎週教授時數ヲ便宜斟酌スルコトヲ得

- | 第一章 學年學期及休業日 | |
|--------------|------------------------|
| 第一條 | 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル |
| 第二條 | 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス |
| 第一學期 | 四月一日ヨリ八月三十一日マデ |
| 第二學期 | 九月一日ヨリ十二月三十一日マテ |
| 第三學期 | 翌年一月一日ヨリ三月三十一日マデ |
| 第三條 | 休日ハ左ノ如シ |
| 一、祝日 | 大祭日 |

二、皇后陛下御誕辰日

四、春季休

五、夏季休業 七月二十二日ヨリ八月三十一日マテ
六、冬季休業 十二月二十六日ヨリ翌年一月七日マテ

傳染病豫防ノ爲メ必要ナルトキ其他非常變災アルトキハ臨時休業ヲナシニトテ得
前項ノ場合ニ於テハ學校長ハ遲滯ナク知事ニ開申スヘシ

第二章 修業年限學科課程及教授時數

- 第五條 本科ノ外補習科ヲ置クコトアルヘシ
第六條 本科ノ修業年限ハ四箇年トス
第七條 補習科ノ修業年限ハ一箇年トス
第八條 本科ノ學科目ハ修身、國語、外國語、歴史、地理、數學、理科、圖画、家事、裁縫、手藝、音樂
体操トス但外國語及手藝ハ隨意科目トス
第九條 補習科ノ學科目ハ本科ノ學科目ニ教育ノ一科目ヲ加ヘタルモノトシ修身國語及教育ノ外ハ隨意科
目トス

第十條 補習科ノ毎週教授時數ハ三十時以内ニ於テ學校長之ヲ定ム但シ教育ノ毎週教授時數ハ二時ニシテ
其ノ課程ハ心理ノ大要教育ノ理論及家庭教育トス
本科ノ學科課程並ニ毎週教授時數ノ配當ハ左表ノ如シ但隨意科目ノ毎週教授日數ハ裁縫ノ毎週教
授時數ヲ減シテ之ニ充ツルモノトス

外國語 (英語)	計	家	圖	理	數	地歷	理史
三 方發音、 譯解、 作文、 書取、 習字	三〇	裁縫 事	寫生畫、 臨畫	動物、植物	動物、 鑄物、 生理、衛	地理、 世界、 地理	日本歷史、 日本
三 方讀方、 作文、 書取、 話	三〇	九 方縫方、 裁方、繕	同	同	上	二 化學、物理	地理、 世界、 地理
三 方讀方、 作文、 書取、 話	三〇	同	上	九 縫方、裁 方	家內ノ整理、 衛生、飲食 物調理實習	一 物 理	外國歷史、 世界、 地理
三 方讀方、 作文、 書取、 話	三〇	同	上	二 歌曲、 樂器	育兒、養老及看 病、家事經濟 家計簿記實習	二 同	歷史、 地理概說
三 同	三〇	同	上	三 同	同	二 同	歷史、 地理

修業證書

精白

族稱氏
氏名

年
月
日

番號
第四章 入學在學退學及懲戒

第十七條 生徒ハ學年ノ始ニ於テ募集ス但缺員アルトキハ第二學期ノ始ニ於テ臨時募集スルコトアルヘシ
前項ノ募集人員ハ知事ノ認可ヲ經テ學校長之ヲ定ム
第十八條 入學志願者ハ入學願書ニ最終ニ在學セシ學校長ノ履歷證明ヲ得テ頤出ツヘシ
入學願書式ハ左ノ如シ

私儀御校第何學年へ入學志願ニ付左記ノ履歴御調査ノ上御許可相成度父(母、後見人)連署以テ
御此段奉願候也

卷一百一十一

生年月日

右父、母、後見人、族稱職業

履歷

中學校

高等小學校第二學年修業 年月日 同 學校
同第二學年修業 年月日 同 學校

同第
卒業年月日

卷之三

前學年末之成績

學年
學科
學科行狀
讀方
綴方
書方
術史
修身國語
算歷地理

尋常（高等）小
學校第何學年

正明便也

第十九條 入學ノ許可ヲ得タル者ノ父(母、後見人)ハ本人ノ戸籍謄本ヲ添へ左式ニ依リ一週間以内ニ保證人連署ノ在學保證書ヲ學校長ニ差出シヘシ

8

在學保證書

埼玉縣何郡何町(村)大字番地(寄留者ハ更三本籍地ヲ加フ)

何府(縣)華(士)族平民職業某子妹(戸主)

生年月日

印紙

右之者今般入學御許可相成候ニ就テハ御規則命令等確守セシムヘキハ勿論濫リニ退學轉學等致サセマシク其他本人身上ニ關スル事件ハ私共ニ於テ一切引受可申候仍テ證書差出候也

埼玉縣何郡何町(村)大字番地(寄留者ハ更三本籍地ヲ加フ)

何府縣華(士)族平民職業

父(母)後見人氏名印

保證人氏名印

肩書同斷

埼玉縣何々高等女學校長氏名印

年月日

埼玉縣何郡何町(村)長氏名印

第二十條 保證人ハ本縣下ニ居住シ一家計ヲ立ツル成年ノ男戸主ニ相違無之此段證明候也

第二十一條 保證人ハ本縣下ニ居住シ一家計ヲ立ツル成年ノ男戸主タルヘシ

第二十二條 學校長ニ於テ保證人ヲ不適當ト認タルトキハ之ヲ改メシムルコトアルヘシ

第二十三條 父母後見人若クハ保證人死亡シ又ハ保證人第十八條ノ要件ヲ失ヒタルトキハ第十七條ノ例ニ依リ更ニ在學保證書ヲ差出スヘシ

第二十四條 生徒疾病其他止ムヲ得ザル事故ニ依リ二ヶ月以上引續キ出席スルコト能ハサルトキハ學校長ノ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得

第二十五條 生徒止ムヲ得ザル事故アリテ退學若クハ轉學セントスルトキハ其事由ヲ具シ父(母)後見人保證人連署ニテ學校長ニ願出ツヘシ

第二十六條 生徒不都合ノ行爲アルトキハ戒飭ニ處シ懲戒ス

第五章 授業料

第二十七條 授業料ハ一人一ヶ月金壹圓五拾錢トス

戰時若クハ事變ニ際シ出征又ハ應召ノ軍人ノ子妹ニ對スル授業料ハ一部若クハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第三十條 學校長ハ授業料滯納中ノ者ニ對シ其出席ヲ停止スルコトヲ得

第三十二條 學校長ニ於テ必要ト認メタルトキハ特ニ入舍又ハ退舍ヲ命スルコトヲ得

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ施行ス

本令ニ關スル細則ハ學校長之ヲ定メ知事ニ開申スヘシ其之ヲ變更シタルトキ亦同シ

附

則

明治三十五年府埼玉縣令第八號ハ之ヲ廢止ス

第四章 級別規定

第一條 職員の休業日は、外へ就業前十五分を登校し就業後三十分で元在学六ヶ月以上者
第二條 職員登校ノ上ハ直チニ出勤簿ニ捺印スルモノトス

第三條 職員缺勤若シグバ遲刻セントスルトキハ必始業前三屆出ツヘキモノトス

第四條 殿員早退セントスルト半若シクハ外出セントスルトキハ學校長ニ申出ルモノト至
第五條 戰員ハ赴任後二週間内ニ覆整書印鑑及宿所番ヲ出シ爾後改姓改印轉居ノ等節ハ其

第五傳 聽見人被傷後一週時日，以應急金（得用於日後）付給，並在三周內付回。

第六條　出張ヲ命セラレジタルモノハ歸校ノ後五日以内ニ復命書ヲ差出スヘキモノトス但シ事宜ニ依リ口頭

第十七條 轉任休職退職又は職務替の際ハ其擔任事務ニツキ學校長指定ノ職員ニ引繼クベキモノトス

職員執務規定

第一條 校務三分科教務室務八部トス
第二條 各部ニ於ケル執務ハ分擔者學校長ノ選定スルモノトス

第三條 各部ハ其分擔ニ異ニスト蹠モ事宜ニヨリ彼是相助ケ執務上ニ遲滯アラシムヘカラサルモノトス

第四條 教務部 八教員全体ヨリ成立シ學校長ノ諮詢ニ應スルモノトス其要務左ノ如シ
教務部

、生徒之入退學轉學及賞罰等關事項

教科書選定三關スルヨト

卷之三

卷之三

、生徒ノ役員選定ニ關スルコト、試験期日並ニ問題ニ關スルコト

一、生徒ノ操行並ニ學業ノ評点ニ關スルコト

第五條 教務部ニ教務主任、教務掛學級主任ノ役員ヲ置ク。

第一、教務ニ關スル規定ヲ制定シ又ハ改廢スルコト。

一、教授細目及教授豫定進度表ニ關スルコト 二、教科ノ統合ヲ圖レコト

一、授業ノ受持並ニ時間割ニ關スルコト

一、操行學業並ニ考査ニ關スルコト
二、主徳占吉等考査ニ關スルコト

一、缺勤教員ノ缺課補充ニ關スルコト
二、出席出席者有問題答案及成績表ノ整理併存ニ關スルコト

一、職員會議ニ關スルコト

教務上ノ諸報告ヲ調製スルコト
學級編制並ニ教室ノ配當ニ關スルコト

一、教務日誌ニ關スルコト

一、豫算調査ヲ纏ムルコト
二、儀式ニ關スレコト

一、圖書器械標本器具ノ購入修理ニ關スルコト

第七條 教務掛ハ教務主任ノ執務ヲ助ケルモノトス

11

第八條 學級主任、擔任學級生徒ノ操行學業ヲ督勵シ其處理スヘキ要務左ノ如シ

一、左記ノ帳簿表類ノ調製整理ニ關スルコト

出席簿、學級日誌、各學年成績一覽表、生徒數增減一覽表、生徒出席調查表、生徒宿所名簿、

生徒勤惰操行簿

一、生徒操行學業ノ主査トナルコト

一、教室並ニ備品ノ整頓保存及修理ニ關スルコト

一、生徒ノ身體検査ニ關スルコト

一、通信簿ニ關スルコト

第九條 教員一般ノ處理スヘキ要務左ノ如シ

一、擔任學科ノ教授細目及其進度報告ニ關スルコト

一、擔任學科ニ屬スル教授用品ノ購入修理ノ請求及ヒ其整理保管ニ關スルコト

一、第十條 舍監部ハ舍監全体ヨリ成立シ首席舍監之ヲ統括スルモノトス

第十一條 舍監ハ寄宿舍ヲ管理シ舍生ノ監督訓練ニ任スルモノトス其處理スヘキ要務左ノ如シ

一、寄宿舍ニ關スル諸規則ヲ制定シ又ハ改廢スルコト

一、舍生ノ入退舍ニ關スルコト

一、舍生ノ室割及舍生ノ役員推舉ニ關スルコト

一、舍生ノ學資金出納ニ關スルコト

一、舍生ノ外出外泊歸郷ニ關スルコト

一、舍生ノ日課ニ關スルコト

一、舍生ノ缺席缺課ニ關スルコト

一、舍生ノ缺席課ニ關スルコト

一、舍生ノ願届ニ關スルコト

一、舍生ノ疾病療養ニ關スルコト

一、舍生ノ信書及物品ノ檢閱ニ關スルコト

一、舍生ノ訪問者ニ關スルコト

一、炊事沐浴ニ關スルコト

一、小使炊婦ノ進退及監督ニ關スルコト

一、舍内器具ノ購入修理ノ請求及其ノ整理保管ニ關スルコト

一、舍内一般ノ整理衛生及警備ニ關スルコト

一、諸表簿ノ調製保管ニ關スルコト

一、舍内用品ノ豫算ニ關スルコト

一、文書ノ受付及發送ニ關スルコト

事務部

第十二條 事務部ハ書記全體ヨリ成立シ首席書記之ヲ統括スルモノトス

第十三條 事務部ニ庶務會計ノ二掛ヲ置ク其處理スヘキ要務左ノ如シ

庶務掛

ニ關スル事項

一、庶務ニ關スル文書ノ起案津寫及セ往復ニ關スルコト

一、文書ノ受付及發送ニ關スルコト

一、校印ノ管守ニ關スルコト
一、諸願届書ノ整理及保管ニ關スルコト
一、生徒ノ募集及入退學ニ關スルコト
一、職員及小使ノ出勤調査ニ關スルコト
一、儀式ニ關スルコト
一、官報縣報及諸學校一覽類ノ保管ニ關スルコト
一、生徒學籍簿ニ關スルコト

會計掛ニ關スル事項

一、會計ニ關スル文書ノ起案淨寫及審查ニ關スルコト
一、經費ノ豫算決算ニ關スルコト
一、物品ノ購入修理及不用品ノ拂下ニ關スルコト
一、金錢ノ收支決算ニ關スルコト
一、授業料ニ關スルコト

土地建物及備品ノ修繕保管ニ關スルコト

一、會計ニ屬スル帳簿ノ整理保管ニ關スルコト
一、備員ノ進退及監督ニ關スルコト

三、生徒監督規定

第一條 監督ハ專ニ生徒看護ノ任ニ當リ兼テ一般ノ管理ニ注意シ其處理スヘキ要務左ノ如シ

一、休憩時間ニ於ケル生徒運動ノ監督

一、課外自習生徒ノ監督

四、職員當直規定

第二條 監督ハ教員一名毎日輪番ニ之ヲ務ムルモノトス

第三條 監督ハ始業前三十分ニ登校シ終業後三十分以上一時間在校スルモノトス

四、職員當直規定

第一條 當直ハ本校職員一名毎日交番ニ之ヲ勤ムルモノトス、但舍監ヲ除ク

第二條 當直ハ分チテ日直宿直トシ日直ハ女子職員宿直ハ男子職員之ヲ勤ムルモノトス

但シ金監ハ夏季冬季休業日ニ於テ日直ヲ勤ムルモノトス

第三條 日直ハ終業時ヨリ日没時マテトス

但シ休業日ニ於テハ始業時ヨリ日没時マテトス

第四條 宿直ハ日沒時ヨリ翌日始業時マテトス

第五條 當直順番ハ書記之ヲ定メ當直室ニ掲示スルモノトス

第六條 當直ニシテ左ノ事項ニ當ルトキハ除番スルモノトス

五、公務出張中ノ者

六、忌引中ノ者

七、一週間以上病氣引籠ノ者

八、學校長ノ命ニ依リ特別ノ事務ニ服スルモノトス

第七條 當直員規定時間迄ニ登校スル能ハサルカ若シクハ全ク當直ヲ爲シ得サルカ又ハ當直中早退セントスルトキハ任意合議ノ上他ノ職員ニ代直ヲ依頼スルモノトス

第八條 當直員缺勤スルトキハ其次番ノ者ヲ繰リ上ヶ出勤ノ翌日ヲ以テ其缺ヲ補フモノトス

第九條 當直員ハ勤務時間中執行シタル事項ノ要領ヲ當直日誌ニ記載シ之ヲ書記又ハ次番者ニ引繼クヘキモノトス

第十條 當直員ハ學校長若シクハ學校宛ノ信書ハ直ニ開封シ其至急ヲ要スルモノハ學校長ニ送付スルモノトス

第十一條 宛名アル信書物品ノ至急表記アルモノハ直ニ宛名ノ人ニ送付スルモノトス

第十二條 第十條第十一條ニ該當スルモノハ外ハ書記又ハ次番者ニ引繼クモノトス

第十三條 當直勤務中ハ校内一切ノ取締ニ任ジ夜分ハ特ニ火災盜難ニ注意シ時々校内ヲ巡視シ又ハ使丁ヲシテ巡視セシムヘキモノトス

第十四條 職員會ハ必要ニ應シ隨時之ヲ開クモノトス

第十五條 職員會ニ於テ議決セシ事項ハ職員會議錄ニ記載スルモノトス

第十六條 職員會ニ缺席セントスルモノハ豫メ其旨ヲ届出テ後出勤シタル時會議錄ニツキ議決事項ヲ承知スヘキモノトス

五 職員會規定

第一條 職員會ハ全校職員又ハ關係職員ヨリ成リ立ツモノトス

第二條 職員會ハ校務及生徒教養上ニ關スル諸般ノ事項ヲ協議センガ爲メ開クモノトス

第三條 職員會ハ必要ニ應シ隨時之ヲ開クモノトス

第四條 職員會ニ於テ議決セシ事項ハ職員會議錄ニ記載スルモノトス

第五條 職員會ニ缺席セントスルモノハ豫メ其旨ヲ届出テ後出勤シタル時會議錄ニツキ議決事項ヲ承知スヘキモノトス

六 教授研究會規定

第一條 研究會ハ全校教員又ハ關係教員ヨリ成リ立ツモノトス

第二條 研究會ハ每月一回以上開會スルモノトス

第三條 研究會ニ於テ議決セシ事項ハ研究錄ニ記載シ教務主任之ヲ保管スルモノトス

第四條 第二條ノ目的ヲ達スルカ爲メ各教員ハ左ノ事項ヲ實行スヘキモノトス

第五條 一、他メテ他教員ノ教授ヲ參觀スルコト
二、教授ノ餘暇可成他學校ヲ參觀シテ教授研究ノ資料ニ供スルコト

七 教授豫定及進度報告規定

第一條 各教員ハ學年之初メニ於テ教授細目ヲ作リ教務主任ノ檢閱ヲ受クヘキモノトス

第二條 各教員ハ學期ノ初メニ於テ其受持學科ノ豫定時數及教授豫定ヲ各目ノ教授豫定及進度表ニ記入シ置キ毎週ノ終リニ實際時數及教授進度ヲ更ニ之ニ記入スヘキモノトス

第三條 各教員ハ毎週ノ終リニ於テ其受持學科ノ進度ヲ各學科進度一覽表ニ記入スヘキモノトス

第四條 教務主任ハ毎學期ノ終リニ教授進度報告表ヲ調査シ學校長ニ報告スヘキモノトス

八 成績考查規定

第一條 學業ノ成績ハ平素ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定期ムヘキモノトス

第二條 但シ修身歷史地理理科家事ニツキテハ試験ヲ行スコトヲ得

第三條 試験ニヨリ成績考査ノ度數ハ一學期二回以上トス

第四條 試験問題ヲ選定シタルトキハ教務ノ任ヲ經テ學校長ノ檢閱ヲ受クルモノトス

第五條 各學科ノ學年成績ハ第一第二學期ノ成績点と學年未考査ノ成績点ヲ加へ之除シタルモノトス

第六條 學科目ノ全部又ハ一部考査ヲ缺ケルカ爲メ通約シ難キ生徒アルトキハ其學科受授教員ノ見込点ヲ以テ學年成績ヲ定ムルモノトス

第七條 成績ハ毎學期末及學年末ニ於テ評語ヲ以テ保護者ニ通知スルモノトス

甲九、十点 乙七、八点 丙五、六点 丁四点以下

第八條 卒業及各學年修了ハ各學科ノ學年成績五点以上ニシテ平均六点以上ヲ得タルモノヲ標準トシテ學校長之ヲ定ムルモノトス

第九條 一學期間以上引續キ缺席シタル生徒ハ原級ニ止ムルモノトス

但シ平素ノ成績佳良ナルモノニ限リ進級セシムルコトヲ得

第十條 轉學者ノ成績ハ本校ニ於テ評定シタルモノ、ミ付考査スルモノトス

第十一條 疾病忌服其他ノ事故ニ依リ成績考査ニ漏レタル生徒ニ對シテハ平素ノ成績佳良ナルモノニ限リ補

歛考査ヲ行フコトヲ得ルモノトス

第十二條 成績考査上學科ノ區分ハ左ノ例ニヨルモノトス

トス

修身(採点ノ割合ノ知識二割)講讀 文法及作文 習字 歷史 地理
數學 理科 圖画 家事 裁縫 音樂 体操 手藝 英語

第十三條 教員ハ學期末及學年末ニ於テ其受持學科ニ付各生徒ノ成績ヲ檢閱用紙ニ記入シ教務主任ノ檢閱ヲ

トス

第十四條 學級主任ハ學期末及學年末ノ學業成績ヲ教務主任ノ檢閱ヲ經タル上之ヲ成績簿ニ記入スルモノ

トス

第五條 學級主任ハ學期末及學年末ニ於テ擔任學級生徒ノ學業成績ヲ保護者ニ通知スルモノトス

第六條 學級主任ハ成績不良ノ生徒ニ對シテ修學ノ方法ヲ指示シ又ハ適當ノ注意ヲ與ヘ且ツ特ニ家庭ノ注意ヲ喚起スルノ必要アリト認メタルトキハ其旨保護者ニ通知スヘキモノトス

第七條 學級主任ハ學期末及學年末ニ於テ其擔任學級生徒ノ成績ヲ一表ニ製シ教務主任ニ差出スヘキモノトス

第八條 學級主任ハ學期末及學年末ニ於テ通約五点以下ノモノ並ニ通約六点以上ナルモノ各學科ノ成績五点以下ノモノ、各科成績一表ニ製シ教務主任ニ差出スヘキモノトス

九 操行調査規定

第一條 生徒ノ訓育ニツキテハ各學級主任トシテ其責ニ任スルモノトス

第二條 學級主任ハ特ニ平素各生徒ノ操行ニツキ周密ナル觀察ヲナスヘキモノトス

第三條 學級主任ハ生徒操行觀察簿ヲ備ヘ自己並ニ他職員ノ該學級生徒ニツキ觀察シタル事項ヲ記入シ置クヘキモノトス

第四條 學級主任ハ其觀察セル操行ニ基キ隨時訓誨ヲ加フベキモノトス

第五條 但シ重大ナル事項ニ關シテハ首席教諭及ヒ學校長ノ承認ヲ受クヘキモノトス

第六條 職員會ノ決議ヲ經タル操行評語ハ學級主任之ヲ操行査定案ヲ作リ職員會ノ評議ニ附スヘキモノトス

第七條 操行査定評議ハ之ヲ甲乙丙ノ三等ニ分ツヘキモノトス

第八條 操行査定ノ結果ハ公示セサルモノトス

一〇 文書取扱規定

第一條 本校ニ到達シタル公文書ハ庶務掛ニ於テ受付學校長若クハ學校宛ノモノハ開封ノ上受付年月日及

番號ヲ受付簿並ニ文書ニ記入シ學校長宛親展書ハ封緘ノマ、學校長ニ回送スヘキモノトス
前條ニヨリ受付タル文書ハ夫々主任者ニ配付シ主任者ハ直チニ之ヲ調査シ回答ヲ要スルモノハ案
ツ具シ學校長ノ裁決ヲ受クヘキモノトス

但シ回覽ヲ要スルモノハ其手續ヲナシ關係職員ノ認印ヲ求ムヘキモノトス
第三條 官報縣報指令及諸回ヨリ到達セシ諸規則ニシテ別ニ意見ヲ付スルニ及ハサルモノハ本紙ノ餘白ニ
取扱主任者捺印ノ上學校長ニ差出スヘキモノトス

第四條 勅令省令等ニシテ校務執行上必要ナルモノハ總ア之ヲ附箋シ其件名ヲ標記シ且ツ別ニ件名番
號發布ノ年月日等ヲ抄錄シ置キ他日ノ閲覽ニ便スヘキモノトス

第五條 處理濟ノ文書ハ類別編綴シテ其緊要ナルモノハ卷首ニ件名目録ヲ附シテ索引ニ便スヘキモノトス
第一二 物品取扱規定

第一條 物品ヲ購入セントスルキハ使用者ニ於テ要項ヲ物品請求簿ニ記入シ該當部主席者ヲ經由シ物品出
納吏ニ差出スヘキモノトス 物品ノ修理ヲナス場合モ亦同シ

第二條 物品出納吏ハ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ直チニ物品ノ有無品質價格等ヲ調査シ物品購入簿ニ記
載シ學校長ノ裁決ヲ經テ購入ノ手續ヲナスヘキモノトス

第三條 總テ物品ヲ購入シタルトキハ物品出納吏ハ番號ヲ附シ校印ヲ捺シ又ハ烙シ備品臺帳圖書臺帳消耗
品出納簿ニ記入スヘキモノトス

第四條 物品需要者ハ其ノ物品ヲ受取ルトキハ物品交付簿ニ受領ノ証印ヲナスヘキモノトス
第五條 備品ハ左ノ例ニ依リ保管スルモノトス

圖書 掛書 掛圖

教室用品 學級主任

教授用品 各學科擔任教員

寄宿舍用品 舍監

事務用品及雜品 書記

第六條 保管中備品ニ毀損若シクハ不用ヲ生ジタルトキハ品種數量及事由ヲ具シ物品出納吏ニ報告シ兼テ
現品ヲ返付スルモノトス

第七條 前條ノ物品ニシテ修理ヲ要スルトキハ物品出納吏ニ於テ之ヲ處理スルモノトス
第八條 寄贈ニ係ル物品ハ事務部ニ於テ之ヲ寄贈品原簿ニ記入シ學校長ノ指揮ヲ受クルモノトス

第九條 圖書ハ保管方法ハ左ノ如ジ
一、圖書掛ハ新ニ購入シタル圖書又ハ寄贈ニ係ル圖書ヲ受理シタルトキハ圖書簿ニ記入スヘキモノ
トス

第十條 圖書ハ保管上左ノ數類ニ區別スルモノトス
修身 國語 漢文 歷史 地理 數學
物理化學 博物 家事 裁縫 音樂
體操遊戲 外國語 教育 作法
習字 圖画 辭書 掛圖 雜書

第十一條 寄宿舍用品保管ノ方法ハ左ノ如ジ
一、舍監ハ其保管ニ屬スル物品ノ品種數量等ヲ備品現在簿ニ記入スルモノトス

一、寄宿舎用品ヲ生徒ニ貸與セントスルトキハ器具貸付簿ニ記入シ使用者若クハ代表者ヲシテ記名捺印ノ上保管ノ責ミ任ゼシムヘキモノトス

二、貸付器具ノ返還アリタルトキハ舍監ニ之ヲ検査シ貸付簿ニ返還月日ヲ記入シ其ノ生徒ノ面前三於テ捺印タルモノトス

第二條 祝日ノ儀式順序左ノ如シ

一月一日

- 一、生徒職員着席
- 二、一同敬禮
- 三、校長御扉ヲ開ク(一同最敬禮)
- 四、君方代三唱
- 五、勅語捧讀(一同最敬禮)
- 六、勅語奉答ノ歌
- 七、一同拜賀
- 八、學校長式辭
- 九、一月一日の歌
- 十、校長御扉ヲ閉ツ(一同最敬禮)
- 一一、一同敬禮
- 一二、職員以下順次退場

紀元節

一月一日ノ順序ニ同シ但シ九ハ紀元節ノ歌

天長節

一月一日ノ順序ニ同シ但シ九ハ天長節ノ歌

皇后陛下御誕辰

一月一日ノ順序ニ同シ但シ九ハ金剛石ノ歌

第三條 勅語捧讀詔書捧讀式始業式終業式ノ儀式順序左ノ如シ

一、生徒職員着席

二、一同敬禮

三、勅語捧讀(一同最敬禮)

四、勅語奉答ノ歌

五、校長告諭

六、一同敬禮

七、職員以下順次退場

但詔書捧讀式ニハ三ハ詔書捧讀四ハ之ヲ省キ終業式ニハ三四ヲ省ク

第四條 職員新任並ニ告別式順次左ノ如シ

一、生徒職員着席

二、校長新任(辞任)職員ヲ導キ式場ニ入ル

三、一同敬禮

四、校長新任(辞任)職員ヲ紹介ス

- 五、新任(辞任)職員挨拶ス
六、生徒總代答辭(告別ノ挨拶)ヲナス
七、一同敬禮
八、職員以下順次退場
証書授與式順序左ノ如シ

一、生徒職員着席

二、來賓着席

三、校長ノ先導ニ依リ知事着席

四、一同敬禮

五、君か代ニ唱

六、勅語捧讀(一同最敬禮)

七、勅語奉答の歌

八、証書授與

九、校長式辭(職員生徒起立)

一〇、知事告辭(職員生徒起立)

一一、來賓祝辭

一二、卒業生總代答辭

一三、卒業式の歌

一四、祝歌

一五、賞狀授與

一六、校長謝辭

一七、知事來賓職員以下順次退場

第一條 生徒ヲ式場ニ列セシムルニハ各學年毎ニ縦列セシムルモノトス

第二條 式場ノ整頓ハ体操科教員之ヲ掌ルモノトス

第三條 各學級主任ハ其教室ニ於テ生徒ノ出缺席ヲ調査シ式場ニ伴フモノトス

第四條 地震暴風ノ際ハ特ニ火器ニ注意スルモノトス

第五條 下校後ニ於テ學校若シクハ其附近ニ火災アリタルトキハ職員ハ直チニ出校シ防衛警戒其他臨機ノ處置ヲナスベキモノトス

第六條 校内常備ノ非常用具左ノ如シ

一、高張提灯

二、唧筒

三、階梯

四、非常籠

五、消火器

第一條 出缺席ハ毎時教室ニ於テ敬禮ノ終リタル後直チニ之ヲ調へ出席簿ニ記入スルモノトス

第二條 出缺席ノ記號ハ左ノ例ニ依ル

缺席 / 遅参 X 早退 △ 出席無記號

休日ニ當ルトキハ何々付休業下記スモノトス
休日ニ當ルトキハ何々付休業下記スモノトス

新入學者ニ付キテハ入學初日ニ當ル欄ニ(入)ト記シ半途退學者ニ付キテハ退學許可ノ日ニ當ル欄ニ(退)ト記入スルモノトス

第三條 無届ニテ缺席又ハ一時間以上ノ遲刻ヲナシタルモノアルトキハ學級主任ハ速ニ其事由ヲ取調ヘ必要ニ應シ父兄又ハ保護者ニ照會スルモノトス

第四條 出席常ナラナル生徒アルトキハ學級主任ハ保護者又ハ保証人ニツキ其事由ヲ取調ヘ成業ノ見込ナシト認メタルトキハ案ヲ具シ首席教諭ヲ經テ學校長ニ申出ツルモノトス

第五條 生徒出席簿ハ毎月末日學級主任之ヲ統計スルモノトス

第六條 日日出席統計表ハ毎日學級主任之ヲ記入シ教務主任之ヲ統計スルモノトス

第一條 教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ヲ奉體シテ善美ナル氣風ア養ヒ貞淑ノ女徳ヲ完フルヲ期スヘキモノトス

第二條 常ニ教師ノ教訓ヲ服膺シテ父母尊長ニ敬事シ規則命令ヲ遵守シ專心學業ヲ勵ムヘキモノトス

第三條 容儀ヲ正シクシ言語ヲ謹ミ禮讓ヲ重シシ座作進退ノ優美ヲ期スヘキモノトス

第四條 凡テ衛生ヲ重シシ飲食ヲ節シ運動ヲ充分ニナシ以テ身心ノ強健ヲ期スヘキモノトス

第五條 諸事節約ヲ旨トシ衣服調度ハ勿論學用品ノ如キモ凡テ質素ヲ守リ實用ヲ辨スルヲ以テ足レリトスヘキモノトス

第六條 洗掃應對庖厨其他凡テ自己ヲナスヘキ事ニハ快ク之ニ服シ決シテ勞苦ヲ厭フヘカラサルモノトス

第七條 總テ人ニ對シテハ信實ヲ守リ親愛ヲ旨トシ殊ニ老人幼者ニ對シテハ懇切ヲ盡スヘキモノトス

第一條 敬禮ハ左ノ心得ニ依リ形式ニ止マラス衷心ヨリ謹ミ敬フヲ要ス

一、最敬禮 両足ヲ揃ヘテ姿勢ヲ正シク起立シ注目ノ後靜ニ上体ヲ前ニ屈シ両手ヲ垂下シテ膝ニ至ルヲ度トス

二、普通敬禮 長上ニ對スル敬禮ハ眞直ニ起チテ敬禮スヘキ人ニ眼ヲ注ギ靜ニ腰ヨリ上体ヲ前ニ屈シ指先ノ膝ニ達スルヲ度トス
同輩ニ對スル敬禮ハ牀ノ上部ヲ少シ前方ニ傾クルモノトス

三、教室内ノ敬禮 教室内ニ於テハ教師教壇ニ上ルヲ見テ生徒ハ起立シ教師机ノ正面ニ立チタルトキニ禮ヲ行フヘキモノトス
教授終リテ教師机ノ正面ニ立チタルトキハ生徒ハ起立シ禮ヲ行フヘキモノトス
教授中參觀人ニ對スル敬禮ハ教師ノ指揮ヲ待ツヘキモノトス

四、教室外ノ敬禮
一、學校内若クハ途中如何ナル場處ニテモ師長若シクハ朋友ニ逢ヒタル片ハ直ニ相當ノ敬禮ヲ行フヘキモノトス
二、途中ニテ師長ニ逢ヒタル片ハ凡三歩前ニテ立止リ禮ヲ行フヘキモノトス
三、校内ニ於テ始メテ師長若クハ朋友ニ逢ヒタル片ハ禮ヲ行フヘキモノトス
四、廊下ニテ再ヒ師長ニ逢ヒタル片ハ會釋シテ過クヘキモノトス
五、學校内ニテ來賓及參觀人ニ逢ヒタル片ハ知人タルト否ト問ハス町寧ニ禮ヲ行フヘキモノトス
六、職員室ニ來ルトキハ入口ニテ禮ヲ行ヒ去ルトキモ亦禮ヲ行フヘキモノトス

第一條 衣服ハ其ノ地質ハ木綿タルベタ仕立ハ筒袖タルヘク色合縞柄等ハ隨意タルヘシト雖モ注意シテ華美ナラヌヲ撰スヘキモノトス

第二條 儀式用ノ衣服ハ木綿ノ黒紋付(袂付)白襟タブヘキモノトス
第二條 袴ハ無地ノ木綿若クハ毛織ヲ用ヒ色合ハ蝦茶トシテ裾ニ一條ノ白線ヲ附スヘキモノトス
第四條 傘履物等ハ質素ニシテ實用ニ適セルモノヲ用フヘク高價ナルモノ無用ノ裝飾アルモノヲ用フヘカラサルモノトス

第五條 リボン髮飾ハ用ヒサル様ニナスヘキモノトス
第六條 校内ニハ總テ草履ヲ用フヘキモノトス但上草履ハ赤緒下草履ハ變リ色緒トス

昇校 下校

第一條 始業前十五分迄ニ昇校スヘキモノトス但シ當番ハ三十分前ニ昇校スヘキモノトス

第二條 終業後ハ速ニ下校スヘキモノトス但シ遊戯運動其他學習ノ爲メニハ一定時間止ルヲ得ルモノトス
第三條 通學ノ途上ニテ時間ヲ徒費スヘカラス又途中他ニ立チ寄ルトキハ豫メ保護者若シクハ保証人ノ承認ヲ經ヘキハ勿論其由通信簿ニ認メ學級主任ニ申出ツヘキモノトス

教室 内 及 其 出 入

第一條 每時始業ノ鈴鳴リタル時ハ處定ノ場處ニ整列シテ教室ニ入り授業終リタル時ハ整列シテ教室ヲ出テ處定ノ場處ニ至リテ解散スヘキモノトス

第二條 受業時間ニハ教師ノ許可ナクシテ教室ニ出入スヘカラサルモノトス

第三條 教室内ニアリテハ常ニ机腰掛ノ位置ヲ整へ姿勢正シク着席スヘキモノトス

第四條 机ノ内ニ常ニ清潔ニシ各自所持ノ物品ヲ整理シ置クヘキモノトス

第五條 遅刻シタルトキハ教師ノ許可ヲ得テ着席スヘキモノトス

第六條 紙屑糸屑ノ散逸シアラハ見當リ次第指定ノ場處ニ片附クヘキモノトス

第七條 裁縫ノ始終ニハ各自處持ノ針數ヲ調ヘ失ハヌ様注意スヘキモノトス 休憩時間

第一條 休憩時間ニハ指定ノ場處ニ於テ快活ニ遊戯運動ヲナスヘキモノトス

第二條 運動用具ハ町寧ニ取扱ヒ使用シタル後ハ必處定ノ場處ニ整理シ置クヘキモノトス

第三條 教師ノ許可ナクシテ校外ニ出ツヘカラサルモノトス

食事

第一條 食事ノ前後ニハ禮ヲ行フヘキモノトス

第二條 食事中互ニ談話スルハ妨ケナシトスルモ無作法ニ陷ラヌ様注意スヘキモノトス

第三條 全部食シ終ル迄靜ニ待チ合ハスヘキモノトス

掃除

第一條 各學級ニ掃除當番ヲ定メ終業後所定ノ教室並ニ附屬廊下ヲ掃除スヘキモノトス

第二條 掃除終リタルトキハ學級主任ノ檢閲ヲ受ケ用具ヲ處定ノ位置ニ片付ケテ戸締ヲナスヘキモノトス

第三條 生徒控所ハ各學級生徒輪番ニ掃除スヘキモノトス

第四條 各教室ニ備付掃除用具左ノ如シ

第一條 病氣其他ノ事故ニヨリ缺席スルトキハ其事由ヲ通信簿ニ明記シ保護者又ハ保証人ヨリ届出ツヘキモノトス

第二條 遅刻シタルトキハ其事由ヲ學科受持教員ニ申出スヘキモノトス

第三條 遅刻早退セントスルモノハ保護者又ハ保証人ヨリ届ケ出ツヘキモノトス

第一條 缺席遲刻早退

第二條 一、幕二、バケツ三、雑巾四、塵取五、ハタキ

第一條 病氣其他ノ事故ニヨリ缺席スルトキハ其事由ヲ通信簿ニ明記シ保護者又ハ保証人ヨリ届出ツヘキモノトス

第二條 遅刻シタルトキハ其事由ヲ學科受持教員ニ申出スヘキモノトス

第三條 遅刻早退セントスルモノハ保護者又ハ保証人ヨリ届ケ出ツヘキモノトス

第四條 寄宿生ノ缺席ハ舍監ニ届ケ出ツヘキモノトス

生徒週番

第一條 週番ハ各學級二名ツ之ヲ置クモノトス

第二條 週番ハ各學級生徒順次之ニ當ルモノトス

第三條 週番ノ執ルヘキ勤務左ノ如シ

一、教授豫定表及ヒ出席簿ヲ毎時整置スルコト

二、學級日誌ヲ記録スルコト

三、職員ノ命令ヲ傳達スルコト

四、物品ノ集配ニ關スルコト

五、教室内ノ清潔衛生整理ニ關スルコト

六、其他該當等級ニ關スル必要ナル事項

第四條 週番ハ左胸部ニ左ノ徽章ヲ佩用スヘキモノトス

（徽章畧ス）

第一條 昇校ノ際書籍筆墨等當日入用物品ヲ忘レサル様注意スヘキモノトス

第二條 所持品ニハ必年級姓名ヲ明記シ置クヘキモノトス

第三條 所持品ハ一定ノ場處ニ置クヘキモノトス

第四條 所持品ハ遺留セサル様注意スヘキモノトス

第五條 金錢及ヒ物品ヲ妄リニ貸借スヘカラサルモノトス

第六條 學校ノ物品ハ常ニ大切ニ取扱フヘク若シ校舍校具ノ毀損シタルトキハ直ニ學級主任ニ申出ツヘキモノトス

第七條 學校内ニテ物品ヲ失ヒ又ハ拾ヒタルトキハ直チニ學級主任又ハ他ノ職員ニ申出ツヘキモノトス
第八條 學校内ニテ病氣ニ罹リ又ハ負傷シタルトキハ直チニ教師ニ申出テ其指揮ヲ受クヘキモノトス
他生徒ノ病氣負傷ヲ發見シタルトキハ亦同シ

一六 生徒保護者保証人心得

第一條 生徒ノ保護者保証人ノ方々ハ能ク學校教育ノ方針ヲ承知セラレ常ニ本校ト氣脈ヲ通シ協力シテ監督誘掖セラレタシ

第二條 學校ト家庭ト氣脈ヲ通スル一方便トシテ通信簿ヲ作リ生徒ニ携帶セシメタレハ充分之ヲ利用セラレタシ

第三條 生徒ノ保護者保証人ノ方々ハ屢來校セラレテ生徒教養ニ關シテ何事モ腹藏ナク相談セラレタシ

第四條 生徒ノ保護者保証人ノ方々ハ學校ノ催シニカヽル儀式及諸會合ニハ可成來校セラレタシ

第五條 豫習ト復習トハ必スナサシメラレタシ但シ其時間ハ毎日凡二時間前後ニ限ラレタシ

第六條 學校ノ課業以外ニ學問技藝ヲ授ケラル、時ハ豫メ學校ニ相談セラレタシ

第七條 家事作法ハ學校ニ於テハ實習ノ機會甚少ナケレハ家庭ニ於テ充分練習セシメラレタシ

第一條 修身上ノ事ハ實踐躬行ヲ主トスレトモ學校ニテハ其機會少ナケレハ家庭ニ於テ充分之ニ留意セラレタシ

第二條 生徒ノ缺席遲刻早退等ハ甚シク學業進歩ノ妨害トナルモノナレバ勉メテ之レナキ様監督セラレタシ

第三條 小說稗史ハ勿論其他新聞雜誌圖書ノ如キモ道徳上好マシカラサルモノハ讀マシメサル様注意セラ

第四條 生徒ニハ老少男女ヲ問ハス不良ナル交際ヲ避ケシメラレタシ

第五條 生徒ノ訓練上有害ナル場處ニハ出入セシメサル様セラレタシ

第六條 夜間ヲ外出ハ可成ナサシメサル様セラレタシ若シ外出ノ止ムヲ得サル場合ニハ必ス附添人ヲ伴ハシメラレタシ

第一條 体育ヲ重ンスベキハ勿論ナレトモ殊ニ當校在學生ノ年齢ハ身体上著シキ變化ヲ來スヘキ時期ナルヲ以テ一層注意セラレタシ

第二條 生徒ニハ女子特別衛生ニ關スル注意書ヲ與ヘ置キタレハ其趣旨ニヨリ充分注意ヲ加ヘラレタシ

第三條 生徒ノ体質疾病等ニツキテハ精シク申出テラレタシ

第四條 次ニ掲タル傳染病ニ罹リタルトキハ其出席ヲ見合サシムヘキハ勿論全治後モ傳染ノ虞ナキ旨ヲ記シタル醫師ノ證明書ヲ學校ニ差出シタル後ニアラサビハ出席ヲ見合ハサレタシ家族又ハ同居人中ニアリタルトキハ亦同シ

一、痘瘡及假瘡 二、實布至利亞 三、猩紅熱 四、發疹室扶斯

一、ベスト 二、赤痢 三、腸室扶斯 四、バラ室扶斯

第五條 次ニ掲タル傳染病ニ罹リタルトキハ傳染病ノ虞ナキ旨ヲ記シタル醫師ノ證明書ヲ學校ニ差出シタル出席セシメラレタシ

首 日 咳 痰 麻疹 流行性感冒 流行性耳下腺炎

風疹 水痘 痘 痢結核 癫 痘

傳染性皮膚病 傳染性眼炎

雜

第一條 生徒宛ニテ學校ニ到來セル物品其他書狀ハ必ス職員ノ手ヲ經テ之ヲ渡シ其密封セルモノハ事情場合ニヨリ職員ノ面前ニ於テ開封セシムルコトアルヘキニヨリ豫メ承知シ置カレタシ

第二條 授業料ハ納入指定ノ期日内ニ納付セラレタシ

一七 寄宿舍細則

寄宿舍ハ生徒ノ品性ヲ陶冶シ學業ヲ修習シ且ツ家事ノ練習ヲナサシムルヲ以テ目的トス

一 生徒心得

第一條 寄宿舍ニアリテハ舍監ニ對スルヨト父母ニ事フルカ如ク舍生ニ交ハルコト姉妹ニ於ケルカ如ク順良信愛ナラシコドヲ勉メ本校生徒心得ハ勿論規律秩序ヲ守リ以テ善良ナル家庭的舍風ヲ發揮スヘキモノトス

第二條 殊ニ禮儀ヲ重ンシ幼者ハ長者ヲ敬ヒ能ク之ニ姉事スヘク長者ハ幼者ヲ愛シ起居飲食衣服物品ノ整理其他諸般ノ事柄ニツキ叮嚀ニ教導スヘキモノトス

二 入舍退舍

第一條 入舍セント欲スハモノハ保護者ヨリ學校長ニ願ヒ出ツルモノトス

入舍ノ際ハ保護者若シクハ保護人生徒ニ附添ヒテ來舍スヘキモノトス（書式畧）

第二條 入ノ舍際持參スヘキ器具物品左ノ如シ

一、教科書參考書文房具 机 本箱二本立以下

二、衣服食器寢具行李洗面器傘履物類

第三條 退舍セントスルモノハ其事由ヲ具シ保護者ヨリ學校長ニ願ヒ出ツルモノトス

第四條 退舍ノ際ハ舍監室長立會ノ上其所有品ヲ悉皆持チ歸ラシムルモノトズ特ニ舍監ノ許可ヲ得タルモ

第一條 各室ノ定員ヲ十人トシ其配當ハ各學年凡二人宛ノ割合トス

第二條 舍務整理ノ爲メ左ノ役員ヲ置ク

一、室長及ヒ副室長各室ニ各一名選任

一、週番各室二名交代

一、炊事當番若干名交代

第三條 室長ノ執ルヘキ任務左ノ如シ

一、室內備付物品ノ整理保管ニ關スルコト

一、外泊若クハ歸宅シタル室友ノ物品保管ニ關スルコト

一、室内ノ風紀衛生戸締リニ關スルコト

一、舍則訓諭ノ實行兼テ舍監ノ命令傳達ニ關スルコト

一、起床後及就寝前室友ノ安否ヲ舍監ニ報告スルコト

一、室友ノ疾病看護ニ關スルコト

第四條 副室長ハ室長ノ任務ヲ補佐シ室長差支アル時ハ其ノ代理ヲナスモノトス

第五條 寄宿舎週番舍監室ニアリテ執務スルモノトス

第六條 寄宿舎週番ノ執ルヘキ任務左ノ如シ

一、命令傳達ニ關スルコト

一、面會人ノ取次ニ關スルコト

一、郵便物ノ發着記入ニ關スルコト

一、週番日誌ヲ記録スルコト

第七條 炊事當番ノ執ルヘキ任務左ノ如シ

一、炊事ノ手配炊事器具食器ノ清潔整理炊事消耗品ノ出納費用ノ計算

一、献立表ノ調製

四 起居動作

第一條 舍内ニ於ケル起居ノ時間ハ點鈴ヲ以テ報ス

其時限左ノ如シ（時限畧）

但時宜ニヨリ伸縮スルコトアルヘシ

第二條 默學時間中ハ各自沈黙ヲ守リ正課ノ自修ヲナシ妄ソニ座席ヲ離ルヘカラサルモノトス

第三條 默學時間中ハ舍監ノ許可ナクシテ裁縫編物等ヲナスヘカラサルモノトス

第四條 起床ノ報アリタルトキハ直ニ寢具ヲ片附ケ窓戸ヲキ開キ身仕度ヲ整ヘ朝食前室内掃除ヲナスヘキ

モノトス

第五條 就寝用意ノ報アリタルトキハ直ニ本机ヲ片附ケ火元ニ注意シ消燈後ハ靜肅ニ就眠シ決シテ他人ノ

安眠ヲ妨クルコトアルヘカラサルモノトス

第六條 登校ノ際ハ必火ノ用心戸締ヲ爲シ還クヘキモノトス

第七條 始業前十五分ノ第一鈴ト共ニ登校シ放課時間迄ハ安リニ歸舍スヘカラサルモノトス

第一條 外出ハ休業日ハ朝食後ヨリ火木土ノ三日ハ放課後ヨリ夕食時迄之ヲ許ス

但臨時外出ノ必要アルトキハ其事由ヲ具シ舍監ニ願ヒ出ツヘキモノトス

第二條 休業日外出ノ際ハ外出簿ニ月日時刻ヲ記入シ舍監ノ許可ヲ受ケ出先ニテ着發時間ノ記入ト捺印ト

第三條 本日短時間外出モシ下タニキリ別室備付ノ外出簿ニ其事由時間及姓名ヲ記シ舍監ノ検認ヲ經
第四條 役宅又ハ外泊モシル時モ保護者ヨリ事由ヲ具シ時日ヲ限リテ願ヒ出テ舍監ノ許可ヲ受ケ可キ者トス
但シ願出ノ事由病氣モルキテ必檢醫ノ診斷書ヲ添フベキモトス
第五條 役宅又ハ外泊ノ外必モ急病又ハ正ムヲ得ナル事故ノ爲メ期日内ニ歸舍シ難キ場合ニハ保護者又
六行先之家ヨリ其事由ヲ具シ届ケ出ツヘキモノトス
但シ届ケ出ヌ事由病氣ノ爲タルモキハ醫師ノ診斷書ヲ添フベキモトス
第六條 左ノ場合ニ於テハ其事情ヲ斟酌シテ歸宅外泊並ニ外出ノ爲メ飲席スルコトヲ許ス
一、父母若クハ祖父母伯叔父母兄弟姉妹等ノ死去シタルトキ
二、保証人疾病ニ罹リ若シテハ死去シタルトキ
三、其他特別ノ事情起シタルトキ
第七條 歸宅外泊ノ際ハ歸宅外泊簿ニ月日時刻出先姓名ヲ記入シ歸舍シタルトキハ其月日時刻ヲ記入シテ
舍監ニ差出スヘキモノトス
六、應接通信

第一條 舍生ニ面會セントスルモノハ小使ニ申出ツヘキモノトス

但シ特別ノ事情アルモノニアラナレハ教授時間中及點燈後ハ之ヲ許サ、ルモノトス

第二條 面會人ノ通知ヲ受ケタル時ハ舍監ノ許可ヲ受ケ應接室ニ於テサヌタニ之レ終ラハ其旨舍監ニ申出
スヘキモノトス

但病氣ノ者ハ保護者保証人其他近親ノモノニ限リ病室又ハ寢室ニ於テ面會スルコトヲ得

第三條 信書物品ノ收受ハ必舍監ヲ經由タニキモノトス
第四條 信書及物品ニシテ監督上機闇ノ必要アリテ認定シ下タニハ舍監並會ノ上開封セシメ場合ニヨリテ
押收スルモシテ此ノ事由ト同様モシテ之レ終ラハ其旨舍監ニ申出スヘキモノトス
第五條 電話ヲ使用セントスルトキハ舍監ノ許可ヲ受ケ當直職員ニ斷ルヘキモノトス
七、掃除及整頓
第一條 舍内及庭園朝夕清潔ニ掃除スヘキモノトス
但之方爲文部省當番二名宛交代スルモノトス
第二條 每日曜放課後室内の物品ヲ整頓シ室内及臺所ノ大掃除ヲナスヘキモノトス
第三條 前條ノ掃除ニ舍監ノ檢閱ヲ要セテ其處ニ至ス
第四條 食後ハ勉メテ運動スヘキモノトス
八、衛生及疾病
第一條 食事ヲ一定ノ時計定ノ場處ニ於テ食セキモノトス
第二條 食後ハ勉メテ運動スヘキモノトス
第三條 妄ソニ間食ヲナスヘカラズルモノトス
第四條 擦衣ニ屢々洗濯スヘキモノトス
第五條 寢具ニ毎週一回日光ニ晒スヘキモノトス
第六條 頭髮ハ毎朝梳リ毎月少クモニ回洗滌スヘキモノトス
第七條 入浴ハ毎日或ニ隔日トシテ放課後ニ就寝食時迄トス
第八條 病氣ニ罹リ治療ヲ要スルトキニ診斷簿ニ記入ノ上治療ヲ受ク入院スヘキモノトス
第九條 病氣ノ爲メ飲席セントスルトキニ室長ヲ經テ舍監ニ届ケ出ツヘキモノトス

第十條 疾病ノ爲メ就擇セントスルトキハ室長ヲ經テ舍監ニ届ケ出ツヘキモノトス
第十一條 洗濯ノ必洗濯場ニ於テシ終リタル時ハ用具ヲ掃除シテ所定ノ場處ニ整頓シ置クヘキモノトス
第十二條 洗濯物ハ盥ニ漬ケ置クヘカラス又夜間戸外ニ放置スヘカラサルモノトス

九 炊事

第一條 炊事ハ生徒ヲシテ交代自炊セシメ割烹及厨房處理ヲ練習セシムルモノトス
第二條 月末ニ當リタル炊事當番ハ翌月ノ初メニ於テ食費計算炊事事務ヲ整理スヘキモノトス
第三條 食品ノ購入ハ一切通帳ヲ以テスヘキモノトス
第四條 諸商人ヨリハ月末ニ通帳ヲ統計シテ請求セシムルモノトス
第五條 炊事當番ハ木曜日ニ次週ノ献立表ヲ作リ舍監ニ差出シ許可ヲ受クベキモノトス
第六條 献立表ヲ變更セントスルトキハ舍監ノ承諾ヲ受クヘキモノトス

十 學資金取扱規定

第一條 舍生學資金取扱ニ關スル帳簿並ニ其取扱規定左ノ如シ
一、學資金領收簿(甲式)生徒之ヲ取扱フ
二、學資金仕譯簿(丙式)全前
三、現金出納簿(丁式)全前
一、銀行預金通帳
第二條 學資金ハ授業料食費舍費學用品費ヲ合セテ一ヶ月凡ソ九圓トス
但舍費トハ入沿用石炭木炭料電燈料新聞雑誌圖書代其他一般ニ關スル費用シス
第三條 學資金ハ凡テ毎月五日迄ニ舍監ニ預ケ入ル、モノトス

但シ數月分ヲ繰メテ一時ニ預クルモ妨ケナシ
第四條 受ケ入レタル學資金ハ學校長名ヲ以テ川越八十五銀行ニ預入レ之ヲ保管スルモノトス
第五條 銀行預金ヨリ生スル利子ハ舍内ノ共同費ニ充ヅルモノトス
第六條 學資金ノ支拂ハ左ノ例ニヨリ之ヲ行フモノトス
一、生徒ニ於テ學資金出納簿ニ金額及事由ヲ記シ舍監ノ檢印ヲ受クルコト
一、小遣錢ハ金曜日ニ申出テ土曜日ニ渡スコト
第七條 學資金ニ關シテハ生徒ヲシテ左ノ事項ヲ守ラシムルモノトス
一、舍生ハ二圓以上ノ現金ヲ所有スヘカラサルコト
一、預ケ入レ金不足スルトキハ支拂ヲ停止スルコト
一、現金ヲ舍監ヨリ受領スルトキハ生徒學資金出納簿ニ捺印スヘキモノトス
一、物品購入ハ現金拂トスルコト
一、私ニ金錢ノ貸借ヲナサルコト
一、學資金出納簿ハ常ニ收支ヲ計算シ殘額ヲ記入スルコト
一、毎月末ニ於テ仕譯帳ト學資金出納簿トノ計算ノ照合アナスコト
一、學期末ニ學資金出納簿ヲ持チ歸リ保護者ノ檢閱ヲ受クルコト
十一、非常心得得
第一條 舍監ハ常ニ職員非常心得ニ注意スヘキモノトス
第二條 舍内ニ失火其ノ他非常ノ變アリタルトキハ氣付キタルモノ直ニ舍監ニ告タヘク若シ暇マナキトハ
適宜ノ方法ヲ以テ其警報ヲナスベキモノトス
第三條 非常警報ニ接シタクトハ立退ノ準備ヲナシ室長ノ指揮ヲ待ツヘキモノトス

第四條 出火立退ヲ要スル片ハ室長公舍監ノ指揮ニリ室友ヲ引率シテ安全ノ場所ニ立退クヘキモノトス
 第五條 緊變ノ際ノ非常警報ノ有無ニ關セス便宜速ニ避難スヘキモノトス
 第六條 大地震又ハ暴風雨際ハ特ニ火久元ニ注意スヘキモノトス
 第七條 室長及炊事當番ニ常ニ火ノ元ニ注意シ警戒ヲ怠ルヘカラサルモノトス
 第八條 非常ノ事變ニ臨ミ周章狼狽セサル様常ニ衣類其他ニ注意シ置クヘキモノトス

十二 參觀者心得

第一條 本校ヲ參觀セシモノハ其ノ住所職業氏名及參觀事項ヲ參觀者名簿ニ記載シテ許可ヲ受クヘキモノトス

第二條 學校ノ都合又ハ場合ニヨリ參觀ヲ謝絶スルコトアルヘキモノトス
 第三條 參觀者ハ許可セラヒタル範圍ノ外ハ妄リニ出入スヘカラサルモノトス

第四條 參觀者ハ相當ノ禮裝ヲナスヘキモノトス
 第五條 授業ヲ參觀タ水トキハ一時間ニ教室以上ヲ超エカラサルモノトス
 但シ校長ノ許可ヲ得タルモノハ此限りアラス

第六條 參觀者ハ授業中教室ニアリテ妄リニ移動シ又ハ發言スヘカラサルモノトス

十四 清潔規定

第一條 學校ノ衛生ヲ重シ之カ清潔ヲ保タシカ爲ス生徒小使等シテ日々校舍内外ノ掃除ヲ行ハシムルモノトス

第二條 校舍内外ノ掃除區域及其配當ハ學年ノ始メニ於テ定ムルモノトス
 第三條 每年夏期休業中ニ於テ小使及臨時傭夫ヲシテ校内ノ大掃除ヲ行ハシムルモノトス

第四條 廊下中適當ノ個處及教室ニ垂壺及屑函ヲ備フルモノトス

第五條 便所ハ日々小使ヲシテ掃除セシムルモノトス

十三 小使要務心得

第一條 小使ハ職員ノ指示命令ニ從セテ常ニ謹直忠實且ツ敏速ニ執務スヘシ

第二條 小使ハ毎日始業一時間前ニ出勤シ直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ

第三條 小使ハ職員ノ退出後ニ於テ退出シ其際當直ニ申出ツヘシ

第四條 小使毎日交番二名ツ、宿泊スヘシ

第五條 小使ハ病氣其他ノ事情ニヨリ缺勤シトズル場合ハ出勤時間前ニ届出ツヘシ

第六條 小使ハ常ニ火ノ元並ニ門戸ノ取締ニ注意シ時々校舍ノ内外ヲ見廻リテ警戒スヘシ

第七條 小使ハ失火近火其他ノ變災ノ節ニハ非番ノ時ト雖モ速ニ出校シテ職員ノ指揮ヲ待ツヘシ

第八條 小使ノ執務要項左ノ如シ

一、正門ハ平素始業一時間前ニ開キ終業一時間後ニ閉ツヘシ
 但小門ハ午後九時限閉ツヘシ

一、總テ面會ヲ乞フモノアルトキハ事務室ニ取次クヘシ

一、總テ郵便物ヲ受ケタルトキハ直ニ事務室ニ差出スヘシ

一、夜間非常ノ際ニハ高張提灯ヲ指定シ場處ニ出シ校門ノ出入ヲ監督スヘシ

一、毎日校長室教員室事務室應接室ノ校具ヲ拂拭整頓スヘシ

一、毎日規定ノ時刻ヲ報スヘシ

一、終業後各室及廊下ノ取締ヲナシ翌朝夙々始業前之ヲ解クヘシ

一、毎日睡壺及紙屑廻ヲ清潔ニスヘシ

一、毎週一回土曜日ハ便所ヲ掃除シタル後防臭糞ヲ撒布スシ

但七月一日ヨリ九月三十日迄ハ毎日防臭劑ヲ撒布スヘシ
一、各室掃除ノ際ニ火器ニ注意シ又諸器具ノ亂雜ニナラサル様注意スヘシ
一、毎月一回下水ヲ掃除スシ

埼玉縣立川越高等女學校々友會規則

第一條 本會ハ會員相互ノ知徳ヲ進メ体力ノ發達ヲ圖リ兼テ同窓ノ交誼ヲ厚フシテ以テ本校ノ教養ノ主旨ニ副フヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ埼玉縣立川越高等女學校校友會ト稱シ之ヲ本校内ニ置ク
第三條 本會ハ本校在學生ヲ會員トシ本校卒業生並ニ元町立川越高等女學校卒業生ヲ會友トシ本校職員舊職員並ニ元町立川越高等女學校職員ヲ以テ特別會員トスルモノトス

第四條 本會ニ學藝部運動部ヲ置キ毎年一回各部ノ大會ヲ開クモノトス
但臨時小會ヲ開クコトアルヘシ

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長二名 本校長
副會長二名 首席教諭

主計二名 特別會員ヨリ委嘱
幹事二名 特別會員中ヨリ委嘱

第六條 役員ノ任務左ノ如シ
會員中各級ヨリ二名宛互選

會長ハ本會ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ代理ス
部長ハ各部ヲ管理シ其部事業ノ進歩發達ヲ圖ルモノトス

主計ハ本會ノ出納ヲ掌ルモノトス
幹事ハ部長主計ノ指揮ニ從ヒ各其分掌事務ニ當ルモノス

第七條 幹事ノ任期ハ一年トシ毎年四月改選スルモノトス

第八條 本會ノ費用ハ會員會友ノ會費ト特別會員其他ノ寄附金ヲ以テ之ヲ支辨スルモノトス

第九條 會員ハ會費トシテ毎月（八月ヲ除ク）金拾錢ヲ納メ會友ハ開會ニ際シ出席シタルモノニ限リ金貳拾錢ヲ納ムルモノトス

第十條 會費ハ會務ニ關スル費用ヲ支辨スルノ外役員會ノ決議ヲ經テ全員共同ノ出費ニ充用スルコトアルヘキモノトス

第十一條 本會ノ會計年度ハ四月ニ始マリ翌年三月ニ終ルモノトシ毎年度ノ收支決算ハ次年度ノ初メニ於テ報告スヘキモノトス

第十二條 各部ノ收支豫算ハ每年會計年度ノ始メニ於テ編成スルモノトス

第十三條 本會規則ハ會長ノ意見ニヨリ役員會ノ決議ヲ經ルニ非ラサレハ變更スヘカラサルモノトス

教科用圖書 · 明治四十四年度

圖書名稱	卷冊ノ記号及員數	著作者氏名	發行者氏名	發行年月日	檢定年月日
女子修身訓	一一四	澤柳政太郎	同文館	四三、一二、七	四三、一二、九

訂改明治女學讀本	一	八	教育學術研究會	全	四三、二、二七	四三、三、一
教女子新日本文典	上	中下	西岡嘉藏	明治圖書株式會社	四四、二、五	四四、二、八
正訂筆のしをり	一	四	小野鵠堂	弘文館	四三、三、二	四三、三、一九
用女子日本史教科書	上	下	峯岸米造	光風館	四四、二、二八	四四、三、三
教女子東洋史教科書	全	全	桑原隱藏	開成館	四三、一、一五	四四、二、一六
教女子帝國地理	全	全	三省堂編輯所	六盟館編輯所	四三、二、二〇	四四、二、二三
訂增女子日本新地圖	全	全	六盟館編輯所	六盟館	四三、一、三五	四三、二、二
最近統合外國地理	上	下	山上萬次郎	大日本圖書株式會社	四二、二、九	四二、二、十三
近統合外國地圖	全	全	全	六盟館編輯所	四二、一、二〇	四二、一、二五
女子地文學	全	全	長澤龜之助	六盟館	四四、二、一五	四四、二、二三
女子算術新教科書	上中下	前後	竹島茂郎	寶文館	四四、二、二〇	四二、一、二五
女子生物界教科書	上	後	藤耕造	目黑書店	四三、一、二	四三、一、二七
女子生理衛生教科書	全	全	成美堂	大日本圖書株式會社	四三、一、二	四三、一、二七
理科化學鑑物教科書	全	全	全	六盟館編輯所	四三、一、二七	四四、三、二
女子物理教科書	全	全	金港堂	六盟館	四三、一、二五	四三、一、二六
女子毛筆畫臨本	一	八	荒木十畝	金港堂	四二、二、七	四二、二、一四
正訂最新家事教科書	上	下	戸野みちゑ	寶文館	四四、二、七	四四、二、一五
ガーラス、チヨイス リーダース	一	四	鐘美堂編輯所	鐘美堂	四三、三、九	四三、三、九

教科用圖書配當表 明治四十四年度

地 理	學 年	第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年	第 四 學 年
歷史	修 身	女子修身訓	一	全上	四
國 語	修 身	女子修身訓	一	全上	四
學 科	學 年	訂改明治女學讀本	一	全上	四
國 語	修 身	女子新日本文典	上	全上	四
地 理	歷 史	用女子日本史教科書	上	全上	四
地 理	歷 史	正訂筆のしをり	一	全上	四
地 理	歷 史	教女子帝國地理	最	統合外國地理圖	最
地 理	歷 史	訂增女子日本新地圖	最	統合外國地圖	全上

理 科	數 學		外 國 語		家 事		圖 畫		理 科		數 學	
	女子 教育 算術 新教 科書 上	女子 生物 界教 科書 前	ガ ル ス ・ チ ヨ イ ス	リ ー ダ ー	全 上	全 上	手 毛 筆 画 臨 本 二	全 上	女子 生物 界教 科書 後	女子 生理 衛生 教 科書	女子 化 學 鑄 物 教 科書	女子 物理 教 科書
職員 (明治四十五年三月現在)												
就職年月日	資格	受持職名	氏名	族稱	就職年月日	資格	受持職名	氏名	族稱	就職年月日	資格	受持職名
明治四十四年四月五日	漢文科倫理科教員免許	修業史	身兼校長	青木正興	明治四十四年四月五日	漢文科倫理科教員免許	修業史	身兼校長	青木正興	明治四十四年四月五日	漢文科倫理科教員免許	修業史
全年四月廿一日	東京高等師範學業	修業史	身兼校長	岩手縣	全年四月廿一日	東京高等師範學業	修業史	身兼校長	岩手縣	全年四月廿一日	東京高等師範學業	修業史
全年三月卅二日	東京女子高等師範學業	修業史	身兼校長	平野民縣	全年三月卅二日	東京女子高等師範學業	修業史	身兼校長	平野民縣	全年三月卅二日	東京女子高等師範學業	修業史
全年三月卅二日	早稻田大學哲學科卒業	修業史	身兼校長	長野民縣	全年三月卅二日	早稻田大學哲學科卒業	修業史	身兼校長	長野民縣	全年三月卅二日	早稻田大學哲學科卒業	修業史
全年三月卅二日	理科教育科卒業	修業史	身兼校長	東京府	全年三月卅二日	理科教育科卒業	修業史	身兼校長	東京府	全年三月卅二日	理科教育科卒業	修業史
全年三月卅二日	裁縫刺繡科卒業	修業史	身兼校長	愛媛民縣	全年三月卅二日	裁縫刺繡科卒業	修業史	身兼校長	愛媛民縣	全年三月卅二日	裁縫刺繡科卒業	修業史
全年三月卅二日	動物及生理科教員免許	博物、體操	全	富山賢淨	全年三月卅二日	動物及生理科教員免許	博物、體操	全	富山賢淨	全年三月卅二日	動物及生理科教員免許	博物、體操
全年三月卅二日	私立女子美術學校卒業	地理、國語	助教諭	池上恭助	全年三月卅二日	私立女子美術學校卒業	地理、國語	助教諭	池上恭助	全年三月卅二日	私立女子美術學校卒業	地理、國語
全年三月卅二日	高等專科裁縫科卒業	裁縫	囑託	小林俊	全年三月卅二日	高等專科裁縫科卒業	裁縫	囑託	小林俊	全年三月卅二日	高等專科裁縫科卒業	裁縫
全年三月卅二日	日本女子大學家政學部卒業	裁縫、刺繡	全	佐藤俊	全年三月卅二日	日本女子大學家政學部卒業	裁縫、刺繡	全	佐藤俊	全年三月卅二日	日本女子大學家政學部卒業	裁縫、刺繡
全年三月卅二日	東京共立女子職業學校卒業	裁縫、刺繡	全	松田登茂惠	全年三月卅二日	東京共立女子職業學校卒業	裁縫、刺繡	全	松田登茂惠	全年三月卅二日	東京共立女子職業學校卒業	裁縫、刺繡
全年三月卅二日	裁縫刺繡科卒業	裁縫、刺繡	全	平崎長野	全年三月卅二日	裁縫刺繡科卒業	裁縫、刺繡	全	平崎長野	全年三月卅二日	裁縫刺繡科卒業	裁縫、刺繡
全年三月卅二日	向山滿壽子(入間)	會計掛書	全	原澤榮且	全年三月卅二日	向山滿壽子(入間)	會計掛書	全	原澤榮且	全年三月卅二日	向山滿壽子(入間)	會計掛書
全年三月卅二日	渡邊清(入間)	庶務掛書	全	石澤まつ	全年三月卅二日	渡邊清(入間)	庶務掛書	全	石澤まつ	全年三月卅二日	渡邊清(入間)	庶務掛書
全年三月卅二日	大澤恒子(入間)	校醫	田中正義	梅澤まつ	全年三月卅二日	大澤恒子(入間)	校醫	田中正義	梅澤まつ	全年三月卅二日	大澤恒子(入間)	校醫
全年三月卅二日	平崎玉民縣	齋木佐太郎	原田榮且	平崎玉民縣	全年三月卅二日	平崎玉民縣	齋木佐太郎	原田榮且	平崎玉民縣	全年三月卅二日	平崎玉民縣	齋木佐太郎
全年三月卅二日	平崎玉民縣	田中正義	平崎玉民縣	平崎玉民縣	全年三月卅二日	平崎玉民縣	田中正義	平崎玉民縣	平崎玉民縣	全年三月卅二日	平崎玉民縣	田中正義

生徒

(明治四十五年三月現在)

補習科(六名)	向山滿壽子(入間)	會計掛書	全	富山賢淨	全年三月卅二日	向山滿壽子(入間)	會計掛書	全	富山賢淨	全年三月卅二日	向山滿壽子(入間)	會計掛書
荒井みづ(入間)	渡邊清(入間)	庶務掛書	全	石澤まつ	全年三月卅二日	渡邊清(入間)	庶務掛書	全	石澤まつ	全年三月卅二日	渡邊清(入間)	庶務掛書
青木みち(北足立)	大澤恒子(入間)	校醫	田中正義	梅澤まつ	全年三月卅二日	大澤恒子(入間)	校醫	田中正義	梅澤まつ	全年三月卅二日	大澤恒子(入間)	校醫
遠木みち(北足立)	平崎玉民縣	齋木佐太郎	原田榮且	平崎玉民縣	全年三月卅二日	平崎玉民縣	齋木佐太郎	原田榮且	平崎玉民縣	全年三月卅二日	平崎玉民縣	齋木佐太郎
長澤くら(入間)	巴比(企)	平崎玉民縣	田中正義	平崎玉民縣	全年三月卅二日	巴比(企)	平崎玉民縣	田中正義	平崎玉民縣	全年三月卅二日	巴比(企)	平崎玉民縣
水島春(入間)	笠間あい(企)	平崎玉民縣	平崎玉民縣	平崎玉民縣	全年三月卅二日	笠間あい(企)	平崎玉民縣	平崎玉民縣	平崎玉民縣	全年三月卅二日	笠間あい(企)	平崎玉民縣
澤山春(入間)	風卷つる(企)	平崎玉民縣	平崎玉民縣	平崎玉民縣	全年三月卅二日	風卷つる(企)	平崎玉民縣	平崎玉民縣	平崎玉民縣	全年三月卅二日	風卷つる(企)	平崎玉民縣

第二學年(四十二名)

當關關關筋佐小小小國木菊勝大綾
麻根根口野藤林林菅杉，崎村池田喜久
ぬツちよハ菊を喜ヨき須芳を久代
くルかけ玄ル枝を美シく那江比企
入入入入(北足立)入間入間入間入間

第三學年(三十八名)

岡小矢茂宮宮前松松町堀西川高柴勝
本川部木木本原島内智子はすつ
約てふはいはいさねくしつ(北足立)入間
春子いくつう喜ねいさねくしつ(北足立)入間
入入入入(北足立)入間入間入間入間

第一學年(六十六名)

川風笠新市淺岩井部綾綾綾
野卷千重子伊子次久代(北足立)入間
野野内岩倉井部綾子(北足立)入間
野野内岩倉井部綾子(北足立)入間
きん千智子代久代(北足立)入間
入間入間入間入間

六六

富中西馬場根尾崎下山喜久子弓子弓子
澤山山山山山山山山山山山山山山山
吉田田田田田田田田田田田田田田
小川和田和田和田和田和田和田和田
柴生田和田和田和田和田和田和田和田
生田和田和田和田和田和田和田和田
てる喜く喜く喜く喜く喜く喜く喜く
入間入間入間入間入間入間入間入間
入間入間入間入間入間入間入間入間
入間入間入間入間入間入間入間入間
入間入間入間入間入間入間入間入間

六七

生徒郡別表

小久保菊枝	比企	遠山けゑ	入間
千代入間		新入間	
佐藤さく	入間	中村ナツ	入間
島嶋崎		長島あい	
菅原登	入間	永島よし	入間
鈴木久	入間	根岸夕ニ	入間
關原美	入間	服部じ	入間
竹谷久	入間	初野たけ	入間
瀧島久	入間	林子か	入間
高橋久	入間	平田勝	比企
武田久	入間	福田かつ	北足立
千原久	入間	町田たか	代比企
田久	入間	松崎ふ	ク比企
ふく	入間	松村久	子比企
く	入間	松井彌壽	子入間
く	入間	九木ふき	入間
く	入間	矢島芳子	入間
く	入間	山口りつ	入間
く	入間	山崎吟子	同
く	入間	山下春子	同
く	入間	横山本	あさ同
く	入間	吉川さ	み同
く	入間	岡田ヤス	同
く	入間	小高ミチ	同
く	入間	草野み	同
く	入間	山悦	同

生徒平均年齢表

科	第三學年	十七年三ヶ月	十四年七ヶ月	十五年五ヶ月
第四學年	十七年五月	十四年三ヶ月	十六年四ヶ月	
十八年七月	十六年七ヶ月	十七年八ヶ月		

生徒父兄職業別

寄宿告

科 目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	合 計	
					補 習	科 目
一〇	七	三	七	二七	二	二七
七	六	三	五	二三	二	三
七	三	八	一〇	五〇	一	五
四九	二九	三〇	一八	一三〇	〇	一三〇
四九	二九	三〇	一八	一八〇	四	一八
四九	四二	三八	二八	一八〇	六	一八〇

明治四十四年本科第一學年入學志願者入學者並二郡別表

明治四十四年本科第一學年入學志願者

入學者出身小學校並二郡別表

郡別	小學校別	種別	卒業ノモノ科		高等小學		志願者入學者		卒業ノモノ上志願者		志願者入學者	
			卒業	常モノ	一學年修了ノ者	高學年修了ノ者	全業	モノ	上志願者	合計	卒業	モノ
北足立	平方尋常學校											
入間	川越尋常小學校											
全	川越南尋常小學校		九		九		二	三	三	三	六九	六九
全	川越北尋常小學校		一三		一三		二	二	二	二	五	五
全	仙波尋常小學校											
全	古谷尋常小學校		二		二		一	一	一	一	二	二
全	南古谷尋常小學校											
全	太田尋常小學校		一		一							
全	日東尋常小學校		一		一							
全	入間川女子尋常小學校		一		一							
全	霞ヶ関尋常小學校		一		一							
全	第一、二名細尋常小學校		一		一							
全	勝呂尋常小學校		一		一							
全	東雲高等小學校		二		二							
比企	三保谷尋常小學校		二		三							
全	小川尋常小學校		一		一							
全	玉川尋常小學校		一		一							

全	田面澤尋常小學校		三		三							
全	太田尋常小學校		一		一							
全	日東尋常小學校		一		一							
全	入間川女子尋常小學校		一		一							
全	霞ヶ關尋常小學校		一		一							
全	第一、二名細尋常小學校		一		一							
全	勝呂尋常小學校		一		一							
全	東雲高等小學校		二		三							
比企	三保谷尋常小學校		二		二							
全	小川尋常小學校		一		一							
全	玉川尋常小學校		一		一							

明治四十四年度經費豫算

項 目	同 目	金 額	節 金 額	附 記	川越高等 女學校費		川越高等 小學校		川越尋常 小學校		東京府 小川尋常 小學校		川越尋常 小學校		東京神田 尋常小學校		他府縣 尋常小學校		秩父 尋常小學校		小見野尋常 小學校		
					第一回 俸 給	二四、〇八四	三五〇	四六	四六	二〇	二〇	三	三	六九	六九	一	一	一	一	二	二		
教員俸給	五、三二〇〇〇	四、八八八〇〇〇	九人兼任 圓	校長兼任 一人年額千圓 人月額參拾六	書記俸給	四三二〇〇〇	二人平均 一人月額拾八圓																
講師年額五百拾圓	三〇〇	五五八〇〇〇	講師四人年額四百八圓		醫師年額五百拾圓	一〇六四〇〇	三三二〇〇〇	三〇〇	三〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇		
小使三人平均 一人月給金 圓此金貳百五拾貳圓	七〇〇	七〇〇	七〇〇		人足延二百人一人日給金 四拾錢此金八拾圓	五一〇	六一〇	六一〇	六一〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	
備品費	六、四二二	六、四二二	六、四二二		消耗品費	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	五、一六三	
電燈料	六一	六一	六一		手數料	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
印刷費	二八	二八	二八		通信費	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇	六四〇〇〇
特別費用	文具費用	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	手數料	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	
式費	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	通搬費	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	六二三三〇	

第三回 校費

七、三三四八五〇

第二回 雜給										
一、三四六										
三〇〇										
諸雇給	三三二〇〇〇	一〇六四〇〇	三〇〇							
職員惠與	五五八〇〇〇									
手當	三四九九〇〇									
旅費	三四九九〇〇									
備品費	六、四二二									
消耗品費	五、一六三									
電燈料	六一									
印刷費	二八									
特別費用	文具費用	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇							
手數料	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇								
通信費	六四〇〇〇	六四〇〇〇								
式費	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇								

第五回	第四回	修繕費
第六回	納國金庫	死退職及給與亡
五三		三〇〇〇〇
二〇		三〇〇〇〇
		通常修繕
		三〇〇〇〇

正	誤	行數	頁數	正	誤	行數	頁數
四〇、一八、敬禮。	四〇、一八、敬禮。	四十一年。	七八	四〇、一八、敬禮。	最敬禮	三十日。	四五三番地
四六、一六、受業。	四六、一六、受業。	四八年。	八一	四六、一六、受業。	授業	三十日。	四五三番地
四八、一一、當等。	四八、一一、當等。	四八年。	九一	四八、一一、當等。	當學	三十日。	四五三番地
五〇、一四、假滄。	五〇、一四、假滄。	五八年。	全一	五〇、一四、假滄。	假痘	三十日。	四五三番地
五五、一四、スハモノ。	五五、一四、スハモノ。	五九年。	全一	五五、一四、スハモノ。	スルモノ	三十日。	四五三番地
五六、一六、週番舍監。	五六、一六、週番舍監。	五九年。	全一	五六、一六、週番舍監。	週番ハ舍監	三十日。	四五三番地
五八、一五、十九。	五八、一五、十九。	五九年。	全一	五八、一五、十九。	入舍ノ	三十日。	四五三番地
五九、一二、十三。	五九、一二、十三。	五九年。	全一	五九、一二、十三。	土曜日	三十日。	四五三番地
六〇、一、三十一日。	六〇、一、三十一日。	五九年。	全一	六〇、一、三十一日。	土曜日	三十日。	四五三番地
三除。	三除。	三除。	全一	三除。	スシ。	三十日。	四五三番地
之除。	之除。	之除。	全一	之除。	スヘシ	三十日。	四五三番地
四九評。	四九評。	四九評。	全一	四九評。	其評	三十日。	四五三番地
一六、檢閱。	一六、檢閱。	一六、檢閱。	全一	一六、檢閱。	探點	三十日。	四五三番地
三七、六、成績。	三七、六、成績。	三七、六、成績。	全一	三七、六、成績。	成績ヲ	三十日。	四五三番地
七八、八、主任ト。	七八、八、主任ト。	七八、八、主任ト。	全一	七八、八、主任ト。	主任主ト	三十日。	四五三番地
之ヲ。	之ヲ。	之ヲ。	全一	之ヲ。	之ヲ。	三十日。	四五三番地
			之二			三四	

校

吉

四五三番地

所

四五三番地

所

第六回 納國金庫	第五回 死退職及給與亡	第四回 修繕費
五三二〇〇	〇	三〇〇〇〇
		通常修繕
		三〇〇〇〇
		七六

明治四十五年三月二十五日印刷

(非賣品)

明治四十五年三月二十八日發行

埼玉縣立川越高等女學校

印刷人 青山博吉

印刷所 青山印刷所

埼玉縣入間郡川越町大字川越一四五三番地

埼玉県立浦和図書館



30007905